

第 65 回 長野県山岳協会 定期総会

2024 年 4 月 7 日 長野県山岳総合センター

総 会 次 第

司会：事務局長

- 1 開会の辞 副会長
 - 2 会長挨拶 会長
 - 3 来賓・顧問挨拶
 - 4 新規加入団体の紹介 信濃木崎クライミングクラブ
 - 5 議長、議事録署名人選出（各 2 名）
 - 6 資格審査（規約第 16 条第 3 項による）
評議員総数 名 出席者（ 名） 委任状（ 名）
 - 7 議長着席・挨拶
 - 8 議事
 - (1) 2023 年度事業報告・活動報告
 - ① 総括報告 理事長
 - ② 総務部 事務局長・広報担当・ホームページ担当
 - ③ 支部 東北信・中信・諏訪・伊那
 - ④ 専門部 登山部（指導・遭難対策・自然保護・ジュニア・国際登山委員会・医学科学委員会）
競技部（国体・スポーツクライミング）
 - ⑤ 高体連報告 高体連
 - ⑥ 山岳総合センター 山岳総合センター所長
 - ⑦ ガバナンスコード スポーツ団体セルフチェックシート
 - (2) 2023 年度決算報告 事務局次長
 - (3) 2023 年度監査報告 監事
 - (4) 規約改正
 - (5) 表彰
 - (6) 新役員を選出
- 〈休憩〉この間に第 1 回理事会開催
- (7) 2024 年度事業・活動計画
 - ① 方針 理事長
 - ② 総務部 事務局長・広報担当・ホームページ担当
 - ③ 支部 東北信・中信・諏訪・伊那
 - ④ 専門部 登山部（指導・遭難対策・自然保護・ジュニア・国際登山委員会・医学科学委員会）
競技部（国体・スポーツクライミング）
 - ⑤ 高体連 高体連
 - ⑥ 山岳総合センター 山岳総合センター所長
 - (8) 2024 年度予算案
 - (9) その他案件
- 9 議長退任
- 10 事務連絡 事務局長
- 11 閉会の辞 副会長

2023年度 長野県山岳協会 総括報告

2023年度は、アフターコロナの1年間でした。延期された鹿児島国体も、無事開催されました。

また、針ノ木の交流会、小川山キャンプなど、協会員同士の横のつながりとなる行事も2年連続で開催することができました。

特に行者小屋でのウィンターミーティングが引き続き開催されたことは、誠に喜ばしいことでした。開催に尽力いただいた指導委員長の高橋さん、さらに当協会のためにだけ行者小屋を開けて下さった赤岳鉱泉様には深く感謝申し上げます。そして開催の根回しをしていただいた故村上周平さんのことも忘れてはいけません。

会員同士、横のつながりとなる行事はこの2年で軌道に乗ったのではないのでしょうか。

次は協会員の中でのニーズが多い、「技術を学びたい」という願いに対し、どう応えるかです。

その一環として昨年度より、国際登山委員長の中島さんが長山協セミナーの充実を図ってくれています。

今後技術交流と向上を図る取り組みが盛んになってくることで、長山協もより活発化してくると思います。

そしてこの「横のつながり」「技術交流」は、当協会への加盟団体だけでなく、巷にある登山グループや個人にとっても魅力があると思います。

この先も長山協が生き残っていくためには、未だ認知度の低い当協会のメリットを今以上にアピールし、協会に加盟していないグループや個人を取り込んでいく必要があります。

指導員については、今年度は新たにアルパインクライミングコーチ1に2名合格、スポーツクライミングコーチ1養成講習修了6名、となりました。

スポーツクライミング競技では橋詰委員長を中心に強化、またジュニアの育成等を進めていただきました。また国体に関わる膨大な事務作業や県とのやりとりを、国体委員長の川嶋さんが中心となって適切に処理して頂きました。深く感謝申し上げます。

また世代を超えてフリークライミングを楽しむため昨年2月、長野フリークライミングクラブが発足しました。

4年後の2028年には、長野国スポが行われます。しかしながら、選手層の薄さや大会運営のための人的確保、施設整備、予算裏付けが十分とは言えないなど、課題も山積しています。JMSCA 公認の審判員については、引き続き資格取得者を増やしていく必要があります。

12年目を迎えた個人会員制度については、未組織の人たちに、横のつながりの楽しさや有意義さをアピールしていくことで個人会員を増やしていくことが必要になります。それが長山協の活性化につながります。

長山協の収入収支については加盟団体数やスポンサーの減少、クライミング大会を開催するための費用、また運営に協力していただいた会員への謝礼が大きな問題になっています。引き続き、経費捻出のための手立てを考えていきます。

山岳総合センターの指定管理者として3期目（通算12年目）は、試行錯誤をしながら新しい視点での事業を活発に行って頂いています。センターの社会的責任を果たそうとする動きが世間に認知され、センターの露出度も高まってきました。しかし全国の人たちの認知度はまだまだ低いのが現状です。

山岳図書資料館は12年目となりました。遠方からの納本、閲覧など安定した利用がされています。令和5年度末で42,092点の図書資料が収められ、収蔵スペースにも限りが見え始めました。重複資料の取扱いなど山岳博物館と協力して適切な運用、運営と資料の充実に努めて行きたいと考えます。

総務部

2023年度活動報告

1) 活動概要

組織体制の改善で3部制が敷かれ「総務部」は「総務部長」「事務局長」「事務担当の事務局次長」「会計担当の事務局次長」「やまなみ担当理事及び支部選出の編集委員」「ホームページ担当理事」により、1期2年の後半業務に携わった。

事務局長では、SNSによる大量な通知類及び郵送物を担当部署に振分け転送、必要に応じ回答作成・返送作業を行った。

また、国民スポーツ大会が近づいて来ていることもあり、これに関わる事務量の増加が著しかったが、今後は更に増加するものと推測される。

会計担当では、会費収入、賛助広告費請求、各委員会などへの活動補助金、助成金の適正執行のほか、旅費規程（内規）の改正を検討し宿泊費補助部分について実勢額に近付けた。またインボイス制度開始に伴う消費税の扱いに関し税務署、賛助広告主との調整を行なった。

やまなみ担当では、機関紙「やまなみ」発行し、広報を通じ会員間の繋がりや協会活動の社会的周知、長山協活動を後世に遺すこと目指した。一方、賛助広告企業の減少、物価上昇等々の要因から、長く原則としてきた賛助広告費による経費完結は赤信号状況にある。

ホームページ担当では、ホームページ、フェースブック、インスタグラムを活用し、SC委員会情報も含めスピード感のある情報発信に努めた。

なお、事務局担当次長は事務局長の、総務部長は会計担当以降を中心にサポートを行なった。

2) 活動内容

次ページ以降に記載

3) 総括

業務遂行にあたり機関紙やまなみへの寄稿者をはじめ、特に文書振り分けに関しては4役、各委員会からいただいたご協力に感謝します。

部制が敷かれたことにより部内担当者間での協力・協調による担当者の負担、特に精神的負担感は軽減されたものと推測しますが、一部業務では部制の利点を十分に生かすことが出来なかったものと考えています。

それぞれの業務に関しては不足なく遂行されたものと考えますが、いわゆるビルドアップに関しては課題を残したものと判断しています。

2023年度 長野県山岳協会活動報告

年	月	日	活動
2023年	【4月】	☆ 9日	第64回定期総会(大町岳陽高校)
		☆ 12日	中信支部幹事会①
		☆ 13日	諏訪支部幹事会①
		☆ 16日	長野県クライミング大会2023
		☆ 18日	乗鞍岳自動車利用適正化連絡協議会総会(伊久間)
		☆ 24日	東北信支部幹事会①
		☆ 25日	第1回理事会(オンライン)
		☆ 26日	遭対委員会・八ヶ岳遭難事故報告書配布
	【5月】	☆ 1日	スポーツクライミング委員会(オンライン)
		☆ 12日～13日	高体連・南信地区総合体育大会
		☆ 13日～14日	第26回雪上技術交流会(針ノ木雪渓) (9団体・42名)
		☆ 13日～14日	スポーツ指導者養成講習会(8名)
		☆ 20日	東北信支部 物見の岩清掃、御礼
		☆ 20日	北信越5県代表者会議 (西田・中島)
		☆ 22日	東北信支部幹事会②
	☆ 27日～28日	第63回スポーツ指導者検定会(4名)	
	【6月】	☆ 1日～3日	長野県高等学校総合体育大会 第52回登山大会
		☆ 3日	スキルアップ研修会ー岩登り(19名)
		☆ 3日～4日	JMSCA 国際AC 委員会 福井県(大西)
		☆ 10日	やまなみ249号発行
		☆ 13日	第2回理事会(オンライン)
		☆ 16日～18日	北信越高等学校体育大会 第35回北信越高等学校登山大会
		☆ 24日～25日	JMSCA 全国遭難対策委員長会議(西之園)
	☆ 27日	山岳総合センター運営管理部会①、社員総会	
	【7月】	☆ 3日	伊那支部・夏山登山教室 伊那山の会事務所(7名)
		☆ 7日	全国遭難対策協議会(Online)(西之園)
		☆ 12日	中信支部幹事会②
		☆ 13日	諏訪支部幹事会②
☆ 23日		諏訪支部・夏山登山教室(三峰山)(11名+スタッフ6名)	
☆ 29日～30日		第44回北信越国体(新潟県新潟市 川嶋・杉田・河竹)	
☆ 30日	中信支部・夏山登山教室 大町運動公園人工壁		
【8月】	☆ 7日～11日	全国高等学校総合体育大会 第67回全国高等学校登山大会	
	☆ 9日	スポーツクライミング委員会(オンライン)	
	☆ 22日	第3回理事会(オンライン)	
【9月】	☆ 2日	指導者研修会-危急時対応(12名)	
	☆ 3日	ジュニア登山教室①子供クライミング教室(子供11名+大人6名)	
	☆ 7日	諏訪支部幹事会③	
	☆ 10日	やまなみ250号発行	
	☆ 15日	中信地区新人体育大会(鷹狩山)	
	☆ 23日	野外救命講習(25名)	
	☆ 29日～30日	南信地区新人体育大会(南アルプス 北沢峠・栗沢山・仙丈ヶ岳)	
	☆ 30日～10月1日	東信地区新人体育大会(青木村 十観山)	
【10月】	☆ 1日	諏訪支部・八ヶ岳清掃登山(中止)	
	☆ 1日	伊那支部 ふるさとの山に登ろう(中止)	
	☆ 1日	ジュニア登山教室②湯俣ハイキング(中止)	
	☆ 7日～8日	北信地区新人体育大会(戸隠キャンプ場 黒姫山)	
	☆ 8日～10日	鹿児島国体(鹿児島県南さつま市 応援・視察 杉田・河竹)	
	☆ 13日	東北信支部幹事会③	

	☆ 14日～15日	第35回長野県山岳協会 キャンプ in 小川山 (39 名)
	☆ 17日	第4回理事会(オンライン)
	☆ 21日	令和5 年度高山植物等保護対策協議会総会
	☆ 29日	諏訪支部・登ろうふるさとの山 (権兵衛峠～経ヶ岳) (6名)
	☆ 29日	SC1コーチ検定会(6名)
	☆ 30日	東北信支部・登山交流会 飯縄山
	【11月】	
	☆ 14日	スポーツクライミング委員会(オンライン)
	☆ 15日	県スポーツ協会とスポーツ課 ヒアリング(県スポーツ会館 川嶋・杉田・河竹)
	☆ 19日	伊那支部 秋山交流会 簾ノ笛山/参加者19人
	☆ 21日	山岳総合センター運営管理部会②
	☆ 23日	2023年JMSCA全国自然保護委員長会議・山岳自然保護の集い(伊久間)
	☆ 23日	北信越五県連絡協議会(長野県)(杉田、西田、大西、河竹、藤井、佐伯)
	☆ 25日～26日	SC1講習会・検定会(6名)
	【12月】	
	☆ 5日	国体委員リモート会議
	☆ 10日	やまなみ251号発行
	☆ 12日	第5回理事会(オンライン)
	☆ 14日	理事長・競技力向上専門委員会(県スポーツ会館 大西・河竹)
	☆ 16日	国体委員会 県大会について
	☆ 16日	JMSCA SC部審判員資格更新研修会(山岳総合センター)
	☆ 23日～24日	第14 回全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会
2 0 2 4 年	【1月】	
	☆ 19日	諏訪支部新年会
	☆ 27日	国際委員会・長山協セミナー あがたの森文化会館(30名)
	【2月】	
	☆ 3日	ジュニア登山教室③「雪のたかがり山ハイク」(小学生4名+保護者4名)
	☆ 4日	ジュニア登山教室④自然体験教室雪の中山高原(実施人数未満のため中止)
	☆ 5日	スポーツクライミング委員会(オンライン)
	☆ 7日	競技用具整備ヒアリング(県スポーツ会館 河竹)
	☆ 10日	全国理事長会議(オンライン 河竹)
	☆ 11日	伊那支部 冬山交流会 戸倉山(23名)
	☆ 13日～16日	台湾冬山講習隊受け入れ(8名)(大西、西田、中島)
	☆ 17日～18日	第9回 ウィンターミーティングin八ヶ岳(25名)
	☆ 20日	第6回理事会(オンライン)
	☆ 29日	国体委員会リモート会議 県大会について
	【3月】	
	☆ 1日	諏訪支部総会
	☆ 2日	指導委員会総会
	☆ 5日	山岳総合センター運営管理部会③
	☆ 9日	ジュニア登山教室④自然体験教室雪の中山高原(雪のため中止)
	☆ 10日	やまなみ252号発行
☆ 12日	第7回理事会	
☆ 15日	伊那支部 幹事会及び総会	
☆ 16日～17日	第17回SKIMO(山岳スキー競技)日本選手権白馬大会(唐木 佐野 五味 西田)	
☆ 20日	東北信支部総会、役員引継ぎ	
☆ 28日	中信支部総会	
【4月】		
☆ 6日	第8回理事会	

2023年度活動報告

1 活動概要

(1)年間4回発行

(2)協会の事業記録を主に、登山に関する記事を掲載。

事業記録記事は主に担当理事、各支部長にお願いし、また参加者の感想等についても手配をお願いした。

(3)編集・割り付けについては、主として編集担当で行った。

(4)発送作業は事務局、担当者と各支部編集委員で行っているが、委員が全員揃うことはなかった。

2 活動報告

期 日	項 目	活 動 内 容
6月10日	249号発行 4ページ	内容の計画、記事依頼、編集、打ち合わせ、入稿、校正など、その都度実施。
9月10日	250号発行 4ページ	
12月10日	251号発行 4ページ	
3月10日	252号発行 4ページ	
6月23日 9月28日 12月22日 3月22日	やまなみ発送作業	松本市双葉印刷にて、編集委員・担当副会長・事務局・担当にて発送作業。

3 総括

(1)ページ数が減ったため、必要最小限の記事になった。

(2)発行予定の10日以降に行事があることが多く、発行予定月内に間に合わせるのが大変だった。

(3)医科学委員会で記事を何回も寄せていただき、会員のニーズに応えることができた。

皆様のご協力に感謝するとともに、次年度もよろしくお願ひします。

広報 ホームページ

2023 年度活動報告

1) 活動概要

- ・ ホームページの更新
- ・ SNS(協会 Facebook 及び Instagram)を通じた、行事と山の情報発信
- ・ スポーツライミング委員会、国体委員会と連携した競技に関する情報の発信

2) 活動詳細

① 協会公式ホームページの更新

- ・ HP 上の「お知らせ」欄で、各支部、委員会等からの依頼に基づく情報掲載作業
- ・ その他適宜必要な情報を発信

② Facebook、Instagram の運用(2023 年 3 月現在)

【協会本体】

- ・ Facebook 2,547 件の「いいね！」・ フォロワー 2,882 人
(※2022 年度末 2,001 件の「いいね！」・ フォロワー 2,293 人)
- ・ Instagram フォロワー1850 件
(※2022 年度末 フォロワー1,503 人)

【SC 委員会】

- ・ Facebook 79 件の「いいね！」・フォロワー120 人
(※2022 年度末 46 件の「いいね！」・ フォロワー66 人)
- ・ Instagram フォロワー78 人
(※2022 年度末 フォロワー38 人)

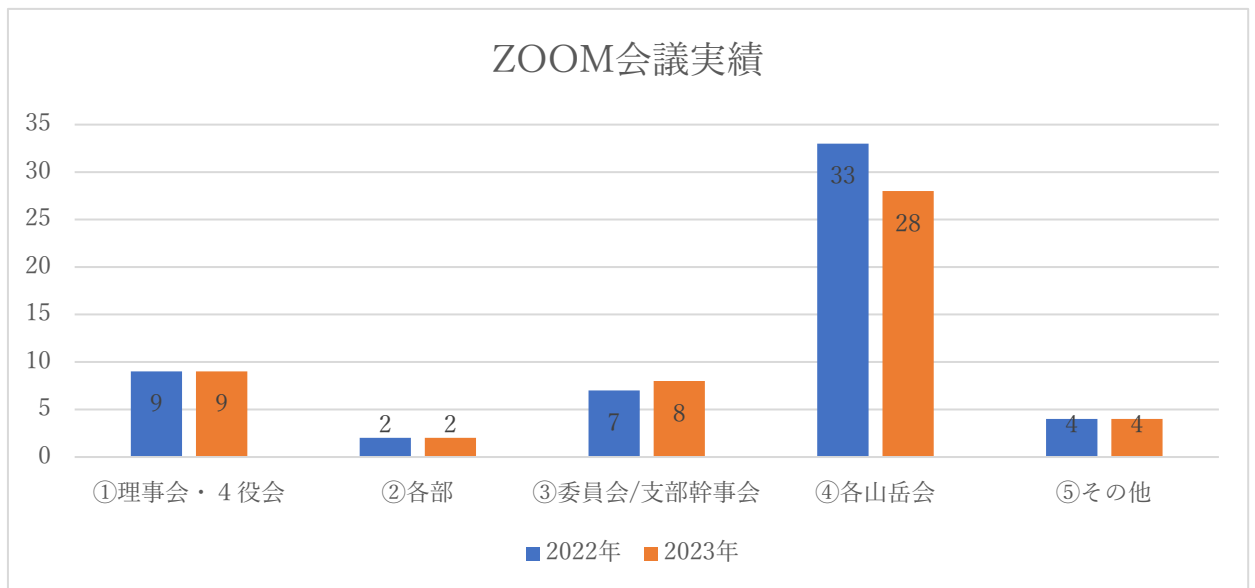
※ 参考:長野県山岳総合センターフォロワー数 Facebook 3,839 人、Instagram 382 人

- ・ FB、Instagram とも伸びているため、今後も情報発信ツールとして活かしていきたい。
- ・ SC 委員会では競技情報が中心だが、今後さらなる情報発信に期待したい。

3) 総括

ホームページでの協会や関係者に向けた情報の発信は、できる限り滞りなく進めることができたと思う。ただ、一般的な情報の発信はあまりできなかった。昨年度は何名かを情報発信担当にお願いし、以来当初は何度か送ってもらったが、その後なかなか自発的には送ってもらうことは難しかった。

新年度は引き続き、幅広い情報発信をしていくために、HP 改変等の業務を進めたい。



※2023年4月9日～2024年4月6日 ZOOM 会議実績

合計 : 51 回

- ・②「各部」は、2回とも登山部の会議。
- ・③支部幹事会の実績なし。
- ・④山岳会例会に活用されている。
- ・⑤その他は、山岳総合センターの管理運営部会、総会

2022年度と大きな変化はありませんでした。各部で活用されており、効果はあったと考えます。

参考 : ZOOM 年間使用料: 21,250 円

東北信支部

2023年度活動報告書

1) 活動方針

- ①東北信支部各会が交流し、親睦を深めるとともに、相互の登山技術および安全登山の向上を図る。
- ②楽しく安全な登山の普及に寄与するため、協会員以外を対象とした登山教室の開催を検討する。
- ③支部交流会を実施し親睦を深める。
- ④幹事会の持ち方についてZOOM等を活用したWeb会議を中心として、各会幹事の負担軽減につながるよう検討を進める。

2) 活動内容

期 日	項 目	活 動 内 容
4月24日	第1回幹事会	・本年度事業計画について ・物見の岩清掃について
5月20日	物見の岩清掃 物見の岩御礼	・合同清掃と交流会 ・霊山寺（支部長対応）
5月22日	第2回幹事会	・登山教室の開催について
(中止)	夏山登山教室	
10月13日	第3回幹事会	・支部交流会について
10月30日	支部交流会	東北信支部交流会に付いて。 (飯縄山交流登山)
3月20日	支部役員引き継ぎ	・今年度の事業・会計報告と監査 ・次年度の事業計画及び予算の承認

中信支部

2023年度 活動報告

(1) 活動概要

- ①幹事会の開催を行った。
- ②次年度以降の活動について協議を行った。

(2) 活動内容

回	実施日	教室名称	活動内容
1	4月12日（水）	第1回幹事会	・今年度事業計画について ・春山登山計画について
2	7月12日（水）	第2回幹事会	・夏山登山教室について
3	7月30日（日）	夏山登山教室	・夏山登山教室の実施 ・小中学生及びその親 ・大町市運動公園 人工岩場
4	3月28日（木）	第3回幹事会 （支部総会）	・今年度事業について ・来年度事業計画について

(3) 総括

- ・夏山登山教室は、山岳総合センターとの共催事業とした。

諏訪支部

2023年度活動報告

1)活動概要

期 日	項 目	活動内容
4/13(木)	第1回幹事会	事業計画決定 夏山登山教室検討
7/13(木)	第2回幹事会	夏山登山教室の最終確認 清掃登山検討
7/23(日)	夏山登山教室	三峰山 実施
9/7(木)	第3回幹事会	清掃登山最終確認、登ろうふるさとの山検討
10/1(日)	八ヶ岳清掃登山	雨天中止
10/29(日)	登ろうふるさとの山	権兵衛峠より経ヶ岳 実施
1/19(木)	支部新年会	次年度役員改選、活動計画検討
3/1(金)	支部総会 懇親会	2023年度活動報告・決算 2024年度活動計画・予算

2)活動内容

- 夏山登山教室 三峰山 一般参加 11名(内小学生2名) スタッフ 6名
- 登ろうふるさとの山 権兵衛峠より経ヶ岳 6名
- 支部新年会 上諏訪 宴屋とんぼ 9名

3)総括

八ヶ岳清掃登山の東西天狗岳は、雨天中止。

夏山登山教室、登ろうふるさとの山は、諏訪支部メンバーで実施。

第4回幹事会 2/15 は、新年会へ変更したため中止。

伊那支部

2023年度 活動報告

1) 活動方針

伊那支部各会の交流と発展を目的とし、交流会や技術講習会などを行っていく。
安全な登山について考え、安全対策の確認と充実を図る。
長野県山岳協会の活動への積極的な参加を行う。

2) 活動内容

期 日	項 目	活 動 内 容
5月13日 ～14日	冬季技術訓練	針ノ木雪渓 10人参加（長山協行事 を兼ねる）
7月3日	夏山登山教室	伊那山の会事務所 参加者7人
10月1日	ふるさとの山を登ろう	烏帽子岳/雨のため中止
11月19日	秋山交流会	簾ノ笛山/参加者19人
2月11日	冬山交流会	戸倉山/参加者23人
3月15日	幹事会及び年度末総会	支部行事について

総括：交流会では久しぶりに大勢の参加があり、支部内の交流が図られた。

登山部

2023年度 総括

2022年度から、登山部はこれまで普及指導部に位置づけられていた「指導委員会」「遭難対策委員会」「自然保護委員会」「ジュニア委員会」、国際部（「国際登山委員会」）、「医科学委員会」、かつてあった「事業部」という組織を総括する新たな部としてリニューアルして活動を始めました。

山岳協会に集った加盟団体、また個人会員も含む協会員がメリットを感じ、負担を感じないような、参加してよかったと思えるような活動を構築していきたいと考えて活動してきました。これまで特定の委員会が行っていた活動を、時には支部も交えて、横の連携をとりながら、有機的に響き合って活性化するように登山部というより大きな枠組みの中で取り組もうという目標のもとに、「第26回雪上技術交流会 in 針ノ木」「第37回長山協キャンプ in 小川山」「第9回ウインターミーティング in 八ヶ岳」「長山協山のセミナー」を複数の委員会の共同企画として準備をし、運営しました。これまで活動を制限されていた新型コロナに関しては、5月に5類移行となり、新たな方向性を見いだせたと考えています。

本来の山岳協会の目的である「正しい登山を指導普及してその健全な発展をはかり、あわせて加盟団体の交流をはかりながら、国民体育ならびに文化の向上に寄与する」ことができるような活動へのきっかけ作りになった年となりました。

次年度はこれらの活動をさらに相互の関係の中で大きくしていければいいと思います。

具体的活動（主なもの）

第26回雪上技術交流会 in 針ノ木

第37回長山協キャンプ in 小川山

第9回ウインターミーティング in 八ヶ岳

長山協 山のセミナー

その他各委員会の活動

指導委員会 2023（令和5）年度事業報告

2024（令和6）年3月2日

指導委員長 高橋政男

○委員会として機能させることが出来ませんでした。

○計画した行事は下記のとおりの実施状況です。

○検定を実施してみて考えたこととして

AC1の検定料をSC並みに実費に近づけることが必要だと考えました。

○上記検定への支出も含め、支出基準を設けることの必要性があります。

○規程について、指導委員会のあり方と合わせ詳細に見直す必要があると考えます。（委員会が主催する行事、ACとSCの関係等々）

0 主任検定員養成講習会派遣(JMSCA) 派遣無

1 第26回雪上交流会in針の木5月13日(土)～14日(日) 9団体 42名

2 指導者養成講習会5月13日(土)～14日(日) 8名

3 第63回指導員検定会5月27日(土)～28日(日) 4名(2名合格)

4 第35回長山協キャンプin小川山10月14日(土)～15日(日) 39名 更新講習

5 スキルアップ研修会(長野県山岳総合センター・遭難対策委員会共催分)更新講習
岩登り 6月3日(土) 19名

6 指導者研修会(長野県山岳総合センター・遭難対策委員会共催分)更新講習
危急時対応9月2日(土)12名

7 SC1コーチ検定会 10月29日(日) 11月26.27日(土日) 受験者6名 合格6名(県外2名)

8 ウインターミーティングin八ヶ岳2月17日(土)～18日(日)25名

9 指導員総会2024年3月2日

10 支部主催登山教室への協力随時

11 更新時講習・対象講習手続き随時

11 協会未加盟指導員の個人会員化・有効期限切れ会員への対応のお願い随時

12 SC指導者養成講習会派遣 無。

新規入会者

影嶋 知香子(諏訪山岳会)

金井 剛(マウントブリー)共通科目終了済み JSPO登録10月1日の予定

退会者

三尾 敦

登山部 遭対委員会

2023年度活動報告

1) 活動概要

- ・他委員会、センターと共催し各事業を実施する事ができた。
- ・2022年4月1日発生の八ヶ岳雪崩遭難事故について報告書を作成、配布。

2) 活動内容

- 長山協指導委員会との共催事業の実施
- 山岳センター主催事業への共催
- 2022年4月八ヶ岳雪崩遭難事故の対応
- 日本山岳・SC協会 全国遭難対策委員長会議への参加

期 日	項 目	活動内容
2023年 4月26日	八ヶ岳遭難事故報告書配布	理事、加盟団体、個人会員にPDF配布
5月13～14日	針の木交流会(指導委共催)	
6月3日	スキルアップ研修会① (山岳センター、指導委共催)	岩登り
6月24～25日	JMSCA 全国遭難対策委員長 会議・研修会	東京スポーツ文化館にて対面で実施 ※委員長出席
7月7日	全国遭難対策協議会 (文部省講堂で実施)	※委員長 Online 参加 参加者 現地約100名、online 約560名
9月2日	スキルアップ研修会② (山岳センター、指導委共催)	無雪期登山道の危急時対策
10月14～15日	長山協キャンプ(指導委共催)	
2024年 1月27日	長山協セミナー(医科学、国 際各委員会共催)	
2月17～18日	長山協ウィンターミーティング (指導委共催)	

3) 総括

- ・各事業とも多くの参加者が集まり、有意義な研修と交流が行う事ができた。
- ・各研修会等においては主催・共催者の尽力で無事実施できた。

登山部 自然保護委員会

2023 (R5) 年度活動報告

1) 活動概要

3月に自然保護指導員研修会を行い、その作業に追われて今年度の自然保護委員会の計画を立てる事が出来ずに思う様な活動が出来ませんでした。何とか最小限の活動が出来ました。

2) 活動内容

【協会内】

期 日	項 目	活 動 内 容
通年	山の写真・情報募集	信州の山の写真を広く募集し、協会HP、協会SNSを通じて広く信州の山のすばらしさを周知する。
2月～	「里山情報発信」	信州の山、特に里山等を中心に、会員から情報及び写真を投稿してもらった。

【対外・外部会議等】

- ① 4月18日(火) 乗鞍岳自動車利用適正化連絡協議会総会 出席 松本合同庁舎
- ② 5月18日(木) 同上、書面審査回答
- ③ 10月21日 令和5年度高山植物等保護対策協議会総会 (書面決議書)
- ④ 11月23日(木) 2023年度「JMSCA 全国自然保護委員長会議・山岳自然保護の集い」参加
- ⑤ 11月26日 長野県教育委員会依頼、南アルプスカモシカ保護地域特別調査アンケート実施

3) 総括

自然保護活動と言うあまり目立った活動は出来なかった。
来期はもっと活発な自然保護活動を行いたい。

ジュニア委員会

2023年度 活動報告

(1) 活動概要

- ①ジュニア登山教室を実施した。(2回、山岳総合センター等との共催)
- ②次年度以降の登山教室実施候補山域の選定と取組み方についての検討を行った。

(2) 活動内容

回	実施日	教室名称	活動内容・実施場所	参加等
1	9月3日(日)	第1回登山教室 子どもクライ ミング教室	小・中学校SC教室 大町市運動公園	小学生11名 保護者6名
2	10月1日(日)	第2回登山教室 湯俣ハイキング	登山教室 高瀬渓谷、湯俣	雨天のため中止
3	2月3日(土)	第3回登山教室 雪のたかがり山 ハイク	登山教室 大町市鷹狩山	小学生4名 保護者5名
4	2月4日(日)	第4回登山教室 雪の中山高原	自然体験教室 旧大町スキー場	実施人数に満た なかったため中 止

(3) 総括

- ・4回の教室実施を計画したが、天候等の理由により2回の実施となった。

登山部 国際登山委員会

2023年度活動報告

1) 活動概要

- 長山協「山のセミナー」を開催
- 山岳センターからの依頼により台湾の大学生の冬山講習隊受け入れ

2) 活動内容

期 日	項 目	活動内容
6月3～4日	JMSCA 国際 AC 委員会	大西登山部長出席、福井県
1月27日	山のセミナー	あがたの森文化会館にて開催 参加者数 30名(協会員 29名、一般 1名)
2月13日 ～16日	台湾冬山講習隊受け入れ	・大学生 5名、OB2名、通訳 1名(范氏、東京在住) 合計 8名が受講 ・大西登山部長、西田副会長、センター職員、中島、外部講師 1名で対応 ・2/13 机上講習、入山準備 14～16 実技講習 黒沢尾根にて歩行、生活幕営訓練、雪崩危険予知およびビーコン捜索、イグルー雪洞、ロープワークなど

3) 総括

昨年に続いて「山のセミナー」を開催した。今年度は協会員による海外登山が少なかったが、松本マウンテンフィールド会員渡辺大智氏よりキリマンジャロ登山について高山病対策も含めた内容で報告された。また医科学委員会による「冬山と夏山の山岳診療所で経験した症例から学ぶこと」(日本登山医学会認定国際山岳医師三浦裕氏)、遭難対策委員会による「雪が織りなす物語」(大町市立山岳博物館館長鈴木啓助氏)の2つの講演と合わせて開催されたこの企画は、協会員に一定のニーズがあるので、他の委員会と協力し登山部の事業として今後も継続する。

台湾冬山講習隊の受け入れについては、通訳の范氏(センターのリーダーコースの卒業生)からセンターに申し入れがあり、センターから国際登山委員会に打診され理事会を経て実施した。稀なケースであり、突然の予定外の事業であったが、理事の協力を得て何とか対応できた。今回を1つの事例として記録に残し、このような海外からの冬山講習の依頼についても、オフィシャルな組織として(できる範囲で)対応することとしたい。

医科学委員会

2023年度活動報告

1) 活動概要

本年度は、新たに講習会を開催しました。

2) 活動内容

- 9月23日 『野外救命講習』と題し、机上と野外での実習形式で講習会を開催。
講師：応急手当指導員 遭対協山岳救助隊員 坂本元太氏
- 1月27日 『長山協 山のセミナー』国際委員会と遭難対策委員会との共催で開催。
『冬山と夏山の山岳診療所で経験した症例から学ぶこと』
至学館大学栄養科学科教授 日本登山医学会認定国際山岳医師
三浦 裕氏 よりご講演いただきました。
- 『やまなみ』への寄稿
 - ・やまなみ249号（6月）服部徹氏に寄稿いただきました。
 - ・やまなみ250号（9月）藤堂庫治氏に寄稿いただきました。

3) 総括

次年度も医科学委員会で意見を出し合い、専門の先生方にご協力をいただきながら活動してまいります。

国体委員会

2023年度活動報告

国体委員長：川嶋一暢

【活動内容】

- 4/16 県大会開催
- 7/29-30 北信越国体 新潟県
- 10/8-10 鹿児島国体 応援と視察
- 11/15 県スポーツ協会とスポーツ課 ヒアリング参加
- 12/5 国体委員リモート会議 県大会について協議
- 12/16 国体委員会議 県大会について協議
- 2/29 国体委員リモート会議 県大会について協議

【次年度に向けて】

- ・保護者に呼びかけ、新たに 6 名の方が山岳協会個人会員として登録し国体委員を引き受けてくださることとなる。
- ・今まで不透明だった県大会の費用について明確にしたことで、開催内容について検討することができた。
- ・県スポーツ課からの競技力向上補助金について、県の指導の下報告書類を一新したことにより、今後も明朗な報告を行うことが可能となった。

【具体的な課題】

- ・保護者の協力だけではいけない。協会からかかわる国体委員の協力が不可欠。
- ・ブロック選出の委員について、基本的に国体委員の業務を担っていただくことが必要と考える。それが難しいのであれば、選出方法を見直すべきではないか。
- ・審判員養成に伴う資金の支出は、県スポーツ課やスポーツ協会の補助には該当しにくい現状。国体委員とは別に、国体準備室と連携し長野国体に向けた人材育成のセッションが必要ではないか。(運営やビレイヤーの養成も含む)

競技部・スポーツクライミング委員会

2023年度活動報告

1) 活動概要

- ① 委員会を年4回開催。指導方針と選手の成長についての話し合い。
- ② 基本的には選手それぞれが個人練習。
- ③ 全種目合同での練習会または講習会を年4回開催。
- ④ 複数種目が合同で開催することも見据えつつ、各種目独自での錬成（合宿）をそれぞれ開催。
- ⑤ 県のマルチサポート活用事業活用。

2) 活動内容

期 日	項 目	活動内容 参加人数
5月1日	スポーツクライミング委員会	ZOOM 委員会開催 6名
5月7日	全強化合同練習	ノボリバ、ドーピング講習、リード、ボルダー 18名
6月4日	少女練習	ダンボ、リード、ボルダー5名
6月4日	少年練習	エッジ松本、ボルダー 6名
6月18日	成男、成女	PAMP2、リード 4名
7月2日	全強化合同練習	CAMP4、リード、ボルダー 11名
7月15日	少女練習	ベースキャンプ。リード、ボルダー 6名
7月15日	少年練習	エッジ松本 5名
7月21日	少年練習	クライムワンダー、リード 5名
8月9日	スポーツクライミング委員会	ZOOM 委員会開催 7名
8月20日	成男、少年	アクティバ、リード 4名
9月17日	全強化合同練習	ブルーキャニオン、リード、4名
10月15日	少年練習	アートウォール、リード、ボルダー 4名
11月14日	スポーツクライミング委員会	ZOOM 委員会開催 5名
11月19日	少年練習	クライムワンダー、リード、1名
11月25、26	SC コーチ検定	ノボリバ 6名
12月2日	少女練習	ダンボ、ボルダー 3名
12月10日	全強化選手合同練習	アートウォール、リード、ボルダー 5名
1月14日	少女練習	クライムワンダー、リード 2名
2月5日	スポーツクライミング委員会	ZOOM 委員会開催 4名

3) 総括

- ①強化指定選手の選考基準を変更した（HPにて公開済）
- ②強化指定選手を指定した
- ③各支部からの委員構成ではなく国体経験者を委員にしたことで役割を分担し業務をスムーズに行うことが出来た。
- ④マルチサポート事業を来年度はさらに活用したい

高体連

2023年度活動報告

1. 活動概要

- ① 令和5年度長野県高等学校総合体育大会 第52回登山大会の開催
- ② 令和5年度 第35回北信越高等学校登山大会への選手派遣と支援。
- ③ 令和5年度全国高等学校総合体育大会 第67回全国高等学校登山大会への選手派遣と支援。
- ④ 令和5年度東北中南信地区新人体育大会の開催
- ⑤ 第14回全国高等学校選抜クライミング選手権大会への選手派遣

2. 活動内容

- ① 令和5年度（南信地区）総合体育大会
期 日 令和5年5月12日(金)～5月13日(土)
場 所 茅野市
会 場 八ヶ岳 赤岳鉱泉・硫黄岳
成 績 男子1位 飯田 OIDE 長姫高校 A（市瀬陽大・代田大晴・小林浩哉）
2位 飯田高校 A（壬生奏太・村澤宏彬・仲田成寿）
2位 下伊那農業高校 B（稲場悠真・蛭名ユウセイ・中村駆）
女子1位 下伊那農業高校（清水野乃栞・丸山琴音）
2位 飯田 OIDE 長姫高校（小池 美緒）
- ② 令和5年度 長野県高等学校総合体育大会 第52回登山大会
期 日 令和5年6月1日(木)～6月3日(土)
場 所 大町市 鍬の峰（1623.2m）
会 場 大町市運動公園総合体育館・研修センター
成 績 男子 1位 屋代高校
2位 松本県ヶ丘高校
3位 大町岳陽高校
女子 1位 松本県ヶ丘高校
2位 屋代高校
3位 大町岳陽高校
- ③ 令和5年度 北信越高等学校体育大会 第35回北信越高等学校登山大会
期 日 令和5年6月16日(金)～18日(日)
場 所 福井県敦賀市 西方が岳(764m)・蝶螺が岳(686m)
会 場 福井県小浜市 若狭湾青少年自然の家
出場校 団体男子 松本県ヶ丘高校・大町岳陽高校
団体女子 屋代（優秀校）・大町岳陽高校

- ④ 令和5年度 全国高等学校総合体育大会 第67回全国高等学校登山大会
 期 日 令和5年8月7日(月)～11日(金)
 場 所 北海道旭川市
 会 場 旭川市民文化会館、十勝岳・黒岳・旭岳
 成 績 団体男子 屋代高校 34位 (89.9点)
 団体女子 松本県ヶ丘高校 26位 (94.4点)
- ⑤ 令和5年度(東北中南信)地区新人体育大会
 北信地区：戸隠キャンプ場 黒姫山、10月7日(土)～10月8日(日)
 〈個人男子〉1位 上野 知希(屋代)
 〈個人女子〉1位 塚田 風衣(長野吉田)
 東信地区：青木村 十観山、9月30日(土)～10月1日(日)
 〈団体男子〉1位 上田西A
 〈団体女子〉1位 上田西A
 南信地区：南アルプス 北沢峠・栗沢山・仙丈ヶ岳、9月29日(金)～30日(土)
 〈団体男子〉1位 飯田 OIDE 長姫高校A
 2位 下伊那農業高校A
 3位 飯田風越高校
 〈団体女子〉1位 飯田 OIDE 長姫高校
 中信地区：鷹狩山、9月15日(金)
 〈団体男子〉1位 松本工業B
 〈団体女子〉1位 松本県ヶ丘高校A
- ⑥ 第14回全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会
 期 日 令和5年12月23日、24日
 会 場 埼玉県加須市 加須市民体育館
 〈個人男子リード〉78位 野本 晃多(小諸高校)
 86位 片井 登翔(上田染谷丘高校)
 〈個人女子リード〉13位 山田 泉都(松本美鈴ヶ丘高校)(決勝進出)
 67位 尾台萌々奈(佐久平総合技術高校)

3. 総括

コロナ禍で日帰り山行の大会が続いていましたが、久しぶりに泊を伴う大会を実施することができました。

ところで顧問は若い教員数が減り、50代・60代(退職後)が中心となってしまい組織の体制が組めなくなっています。これまでのような教員の無償労働を前提とした運営を改め、負担軽減(残業一ヶ月100時間超えがなくなる)と残業手当(現在1日引率2700円)の改善を図るべきと思います。

すでに県高体連は消滅も視野に今後の在り方を模索し始めました。

今年度も日山協への選手登録が義務付けられていますが、長山協より登録料補助もあり、高体連としても感謝申し上げます。

2023(令和5)年度 長野県山岳総合センター 運営・管理について

【総括】

5月にコロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、施設の利用制限もなくほぼ計画通りに事業を実施することができた1年だった。

主催事業としては、コロナ禍で一般的になったオンライン講習にセンターとして単独で初めて取り組み、7月と12月に「安全登山オンライン講座」を開催した。また、対象者を独身登山者に限定し山の仲間づくりもしてもらおうという目的の講習会も開催した。

施設利用の面では徐々に利用者が増加しているが、宿泊利用者は少ない。

1. 主催講習について

- ・コースで学ぶ「リーダーコース(夏・雪山)」とロープクライミングを学ぶ「マルチピッチクライミング教室(クライミング経験者向け)」を開催した。
- ・今年度から始まった5回シリーズ「シニア安全登山教室」には、のべ80人を超えるシニア世代の方が参加した。次年度も引き続き開催予定。
- ・小学生対象のボルダリング教室「わいわいKidsボルダリング教室」は、今年度から2部制とし、昨年度より多くのこどもが参加できるようにした。
- ・教職員向けの講座「登山の引率 はじめの一步～学校登山の引率者向け～」と「信州の山で学ぼう ～唐松岳2,696m～」は、県体育センターと共催し、多くの教職員方の参加があった。
- ・複数の中から日付を選択して受講できピンポイントで学べる「Mountain Salon」を今年度も開講し、クライミング講習関係を中心に申し込みがあった。
- ・アウトドアショップスタッフとセンター職員の合同研修会「信州山岳アウトドア研修」を、6月と10月の2回開催した。
- ・山岳協会の各委員会や支部(ジュニア、指導、遭対、自然保護、中信支部)と共催という形で、各種研修会や教室を開催した。

2. 利用事業について

- ・ボルダリング壁の利用促進を目的に、正月の時期に「お正月ボルビンゴ」を開催した。
- ・築30年となる人工岩場の老朽化の現状を県に伝え、点検と補修作業をお願いした。

3. その他の事業等について

- ・長野県監査委員監査基準及び監査実施要綱に基づく財政援助団体等の監査対象施設に選定され、実地監査を受けた。指摘事項、指導事項は無かった。
- ・長野県山岳遭難防止対策協会から依頼のあった、県の冬山遭難防止対策事業の一環としてのバックカントリースキー等及び冬山登山の基礎知識、装備、危急時対応等についてまとめた3～5分程度の啓発用動画3本を納品した。
- ・調査研究で取り組んだ「中学校登山 生徒意識アンケート調査」のまとめをHPに公表した。
- ・HPをリニューアルした。今後少しずつ拡充をしていく予定。

2023(令和5)年度 長野県山岳総合センター 収支見通し

科目		見通し	備考
収入	指定管理料	26,819,000	
	施設利用	620,200	施設利用・宿泊・ボルダリング利用
	その他収入	296,085	外部への職員派遣など
	前期繰越し	192,951	前期の純利益
	主催事業収入	4,610,510	預かり金を除く
	小計	32,538,746	
支出	人件費	24,685,058	法定福利費、臨時職員含む
	管理経費	4,738,024	人件費以外の管理系費用、施設更新・備品更新含む
	主催事業支出	2,051,239	講師謝礼、交通費、燃料など。預かり金除く
	小計	31,474,321	
収支		1,064,425	3月25日時点の見通し

※この収支は3月25日時点のもので、ここから3月分の経費、消費税、源泉所得税などを支払った残りが今期の余剰金となる

(様式第 10 号)**スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係るセルフチェックシート****[団体名：長野県山岳協会]****[記載日：2024 年 4 月 7 日]****【対応状況に係る自己評価】**

A：対応している

B：一部対応している

C：対応できていない

項目	対応状況
原則 1 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。	
(1) 法人格を有する団体は、団体に適用される法令を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	A-B-C
非該当	
(2) 法人格を有しない団体は、団体としての実体を備え、団体の規約等を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	ⒶB-C
<ul style="list-style-type: none"> ・規約を定め、組織的な活動を行っている。 ・会計口座は、団体活動のための専用の口座であり、個人の財産とは分別して管理・運営している。 	
(3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	ⒶB-C
<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の利用にあたっては、当該施設の使用を遵守している。 ・登山にあたっては、法令、長野県登山安全条例等の遵守を会員に周知している。 	
(4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。	ⒶB-C

<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規約上で組織を定め、理事、監事を置き、担当する役員を整備している。 	
<p>原則 2 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。</p>	
<p>(1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。</p>	<p>Ⓐ B C</p>
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年に一度の定期総会で基本方針の確認、承認を行っている。また、ウェブサイトで公表している。 	
<p>原則 3 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。</p>	
<p>(1) 役職員に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。</p>	<p>Ⓐ B C</p>
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部委員が長野県スポーツ協会協会のコンプライアンス講習に出席。 ・理事に対してコンプライアンス教育 	
<p>(2) 指導者、競技者等に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。</p>	<p>Ⓐ B C</p>
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A 登録選手実施、指導者実施 	
<p>原則 4 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。</p>	
<p>(1) 財務・経理の処理を適切に行い、公正な会計原則を遵守しているか。</p>	<p>Ⓐ B C</p>
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計については適切に処理を行い、監事による監査を受けている。 	
<p>(2) 国庫補助金等の利用に関し、適正な使用のために求められる法令、ガイドライン等を遵守しているか。</p>	<p>Ⓐ B C</p>
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度よりガイドラインを決めて取り組んでいる。 	

(3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。	(A) B C
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・会計については適切に処理を行い、監事による監査を受けている。	
原則 5 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに、組織運営に係る情報を積極的に開示することにより、組織運営の透明性の確保を図るべきである。	
(1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。	A B C
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) 非該当	
(2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。	(A) B C
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・ウェブサイト上で組織の情報を開示している。役員、規程等。 ・年度ごとの収支は、2021 年度から公表している。	
原則 6 高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合、ガバナンスコード<NF 向け>の個別の規定についても、その遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである。	
自らに適用することが必要と考えるガバナンスコード<NF 向け>の規定があるか (ある場合は下欄に記述)	
原則 ■ について	A B C
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) 非該当	
原則 ■ について	A B C
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) 非該当	

表 彰

2023年度被表彰者

賞	団体名	氏 名	表彰該当事項
山岳栄光賞	国体成年女子 長野県チーム	監督・橋詰正興	<p>成年女子チームは、鹿児島県で行われた特別国民体育大会において、ボルダリング競技6位入賞を果たした。</p> <p>その成果はもとより、不断の努力により勝ち取った栄光と長野県山岳界への功績は大である。</p>
		選手・三森里子	
		選手・中嶋 諒	
山岳栄光賞	国体少年女子 長野県チーム	監督・大西 浩	<p>少年女子チームは、鹿児島県で行われた特別国民体育大会において、ボルダリング競技8位入賞を果たした。</p> <p>その成果はもとより、不断の努力により勝ち取った栄光と長野県山岳界への功績は大である。</p>
		選手・佐藤伊吹	
		選手・徳嵩悠乃	

2024年度 長野県山岳協会 活動方針（案）

一番の課題は長山協の活発化です。

また 2028 年に長野国スポが予定され、当協会がスポーツクライミング競技を主管することが決まっています。それらの課題解決のため、以下の4点を重点におきます。

1、協会活動の見直し

協会員と理事の負担を軽減し、協会員のメリットを増やし、登山愛好者、グループの取り込みをはかることで加盟山岳会の増加をはかり、協会全体の活性化を目指します。

- ①組織を登山部、競技部、総務部の3つに再編しました。部内には複数の委員会があります。これまでは各委員会がそれぞれ別の活動をしていましたが、登山部長を中心として部内に所属する委員会同士の協力を進めることで、委員長の負担を少しでも軽減できればと考えています。
- ②5月の針ノ木、10月の小川山、冬の八ヶ岳、そして山のセミナーといった協会員のヨコのつながりを重視した活動を進めていきます。
- ③技術交流の機会を作っていければと考えています。

2 国スポの準備

今年度より国スポ準備室を設け、準備を少しずつ本格化させていきます。

①運営

a、協力体制

県内でジャッジはB級2名、C級12名が最低限必要となります。

ビレイヤーも20名必要です。

それらも含め、県内全体で100名程度の協会員の協力が必要となります。

そのためには協会全体で取り組んでいく必要があります。ぜひ、多くの方のご協力をお願いいたします。

b、施設整備

大町市との密な連携・協議を引き続き進めていきます。

c、運営のノウハウ

国スポやJMCSAの運営する大会への視察員、役員派遣という形で、少しずつ競技運営へのノウハウを身につけていく必要があります。

②強化

橋詰SC委員長を中心に、SC委員会で強化を進めて頂いています。

少年層の強化など、課題はたくさんありますが、それらの解決に向け、1つずつ着実に取り組んでいきます。

3 情報発信強化

HPの見直し、SNS（フェイスブック、インスタグラム等）の活用、機関紙やまなみの見直し等を行っていきます。

当協会の認知度、特に登山グループや登山愛好者への認知度は、非常に低いのが現状です。

一方でそれらのグループ、個人にとっても当協会の強みである「横のつながり」や「技術の伝達」はそれなりにメリットがあります。未組織のグループや個人にどうやって当協会の認知度とメリットを伝えるか。これが課題です。

当協会が指定管理者となっている山岳総合センターと連携して、この課題に向き合いたいと思います。

4 山岳総合センター

山岳総合センターは安全な登山に関する知識及び技術の普及啓発を行う教育事業の場です。この使命を果たすためにも、安定して運営が継続できるよう体質を強めていくことが必要であると考えています。

4年後の国スポに向け、協会員の協力が必要です。ぜひ、多くの方々のご協力をお願いいたします。

総務部

2024年度活動計画

1) 活動方針

正確・適正な事務処理に努めることを第一義として事務事業に対応して行きます。

事務的処理に当っては可能な限り複数者が関わり、正確性を期すとともに関係者の負担軽減を図り、また協会員の皆さんから理解しやすい事務対応を目指します。

また、やまなみ編集委員、SNS発信協力者はもとより、総務部内外での協調体制を更に整え、個人情報保護の観点にも立ちつつ登山活動の活性化、協会運営の円滑化、活動記録の集積にも資する情報の適時発信を行っていきます。

紙媒体である機関紙「やまなみ」での送付料金値上げ、原材料費値上げなど外的要因による経費問題、加盟団体における集会機会の減少と配布停滞などの現状を詳細把握しSNS利用のメリット・デメリット等も熟考し、総体的な研究検討を実施し協会内総意を得たうえで情報発信の手法、方針を決定していきます。

2) 活動計画

次ページ以降に記載

3) 役員名簿

役 職	氏 名	所 属
部 長	西田 均	大町山の会
事 務 局 長	藤 井 伸	諏訪山岳会
事務局次長(事務担当)	佐 伯 和 人	山幸グループ
事務局次長(会計担当)	平 林 秀 樹	岡谷山稜会
やまなみ 担 当	沼 田 陽 子	信濃高等学校教職員山岳会
ホームページ担当	赤 梅 琴 美	大町山の会

2024 活動計画

1) 活動方針

- (1) 年間4回発行し、各号4ページとする。
- (2) 山岳協会、各支部、各山岳会の活動記録、活動報告を中心に据え、記録および情報交換、情報提供の場にし、登山活動に活用できる機関誌を目指す。
- (3) 内容などに関する意見を各方面に聞いたり、編集委員がアイデアを出し合ったりすることで、新鮮味があり、また、読者の興味関心が持てる冊子になるよう工夫する。

2) 活動内容

期 日	項 目	活 動 内 容
6月10日	253号発行	内容の計画、記事依頼、編集、打ち合わせ、入稿、校正など、その都度実施。
9月10日	254号発行	
12月10日	255号発行	
3月10日	256号発行	
6月10日 9月10日 12月10日 3月10日	やまなみ発送作業	松本市双葉印刷にて、編集委員・担当副会長・事務局・担当にて発送作業。

3) やまなみ編集委員

役 職	氏 名	所 属
担当副会長	西田 均	大町山の会
担当理事	沼田陽子	信濃高等学校教職員山岳会
東北信支部委員	中島智章	長野山岳会
中信支部委員	中川由香里	松本岳友会L&M
諏訪支部委員	藤森 千吹	下諏訪山岳会
伊那支部委員	唐木千穂	伊那山の会

広報 ホームページ

2024 年度活動計画

1) 活動方針

① 情報発信力の強化と各会との連携

HP を核として、Facebook、Instagram 等の SNS も活用しながら、知名度向上と情報発信力の強化に努める。また、各所属団体についても HP や SNS を実施している会が増えているため、連携を図りながら、新規会員の獲得につながるような魅力ある情報発信を行っていききたい。

② 分かりやすいホームページの運営

ホームページを見やすく利用しやすいものとするため、改変を行う。

具体的には、一部業者にも依頼して固定的な情報と流動的な情報のページを整理して、誰でも更新作業が効率的に迅速に行えるようなページ作りを手掛けていききたい。

2) 活動計画

期 日	項 目	活動内容
通年	情報発信	ホームページ・SNS (Facebook、Instagram) 上記を中心とした迅速な情報発信
通年	情報共有及び発信	各委員会と連携して、活動内容の発信を行う
通年	協会活動の広報強化	協会の活動やイベント情報などを、協会所属団体等の SNS 等にも掲載を依頼し、協会活動の周知や PR に努める
通年	やまなみとの連携	紙媒体と電子媒体の役割分担を行い、効率的な情報発信に努める

● 情報発信の充実

2023 年度より SNS 発信について各会員に呼びかけ協力を依頼したが、今年度も主に SNS ページを持つ会などと連携しながら、回数・内容とも充実させる。

● 個人情報の取り扱いについて

上記情報発信を含め、個人情報や肖像権に十分留意するとともに、HP 等で開示することが必然でないものについては、HP 上に掲載しないなど、引き続き情報の取り扱いには細心の注意を払って運営する。

3) 担当者

役 職	氏 名	所 属
(主担当)	赤梅 琴美	大町山の会
各会	情報発信者に適宜連絡	

東北信支部

2024年度活動計画

1) 活動方針

- ①東北信支部各会が交流し、親睦を深めるとともに、相互の登山技術および安全登山の向上を図る。
- ②楽しく安全な登山の普及に寄与するため、協会員以外を対象とした登山教室の開催を検討する。
- ③支部交流会を実施し親睦を深める。
- ④幹事会の持ち方について ZOOM 等を活用したWeb会議を中心として、各会幹事の負担軽減につながるよう検討を進める。

2) 活動内容

期 日	項 目	活 動 内 容
4月中旬	第1回幹事会	・本年度事業計画について ・物見の岩清掃について
6月上旬	物見の岩清掃 物見の岩御礼	・合同清掃と交流会 ・霊山寺（支部長対応）
	第2回幹事会	・登山教室の開催について
6月8日(土)	夏山登山教室	・雁田山、座学
8月下旬	第3回幹事会	・支部交流会について
9月下旬以降	支部交流会	(内容 未定)
3月上旬	支部定期総会	・今年度の事業・会計報告と監査 ・次年度の事業計画及び予算の承認

3) 東北信支部役員名簿

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
支部長	和田 司	初任バチ長野	ジュニア委員	松山 武彦	中野山岳会
事務局長			国体(競技)委員	伊東 秀起	アートウォール
副支部長	松山 信	マウントブロー	スポーツライジング委員		
指導委員	松山 信	マウントブロー	国際登山委員	松下 徳孝	中条山岳会
遭難対策委員			医科学委員	柴本 利広	GDM
自然保護委員	中島 智章	長野山岳会	やまなみ編集委員	中島 智章	長野山岳会

中信支部

2024年度 活動計画

(1) 活動方針

- ①加盟団体が交流し、親睦を深めるとともに登山技術及び安全登山の向上を図る。
- ②「登山教室」を開催し、登山活動の普及を図る。

(2) 実施予定

回	実施日	教室名称	活動内容
1	4月10日（水）	第1回幹事会	・今年度事業計画について
2	7月17日（水）	第2回幹事会	・夏山登山教室について
3	7月27日（土）	夏山登山教室	・夏山登山教室の実施 ・小中学生及びその親 ・大町市運動公園 人工岩場
4	3月5日（水）	第3回幹事会 （支部総会）	・今年度事業について ・来年度事業計画について

(3) 委員名簿

役 職	氏 名	所 属	役 職	氏 名	所 属
支部長	小野文孝	松本岳友会 ライフ&マウント	国体委員	廣川健太郎	信濃木崎 クライミングクラブ
副支部長	横澤充	松本マウンテン フィールド	SC委員	栗原久	大町山の会
指導委員	横澤充	松本マウンテン フィールド	国際登山委員	伊藤拓生	大町山の会
遭難対策委員	廣川健太郎	信濃木崎 クライミングクラブ	医科学委員	鳥山公平	信州大学 医学部山岳部
自然保護委員	麻田正明	松本岳友会 ライフ&マウント	やまなみ編集委員	中川由香里	松本岳友会 ライフ&マウント
ジュニア委員	栗原久	大町山の会			

諏訪支部

2024年度活動計画

1)活動方針

諏訪支部各会が親睦を深め、情報交換を図る。

夏山登山教室、清掃登山等の恒例行事は、コロナウイルス対策を行い実施し、一般登山者の安全登山の向上を図る。

2)活動計画

- 夏山登山教室
- 八ヶ岳清掃登山
- 登ろうふるさとの山
- 山菜山行

期 日	項 目	活動内容
4/18 (木)	第1回幹事会	事業計画決定 夏山登山教室検討
7/11 (木)	第2回幹事会	夏山登山教室の最終確認 清掃登山検討
7/21 (日)	夏山登山教室	指導部取りまとめ
9/12 (木)	第3回幹事会	夏山登山教室の反省 清掃登山最終確認
9/29 (日)	八ヶ岳清掃登山	普及指導部/自然保護部、取りまとめ
10/20 (日)	登ろうふるさとの山	
1/17 (金)	新年会兼第4回幹事会	活動内容まとめ、次年度活動計画検討
3/7 (金)	支部総会	2024年度活動報告・決算 2025年度活動計画・予算

3)役員名簿

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
支部長	小松 善仁	山幸グループ	国体(競技)委員	小林 正則	岡谷山稜会
副支部長	内山 恵之	下諏訪山岳会	スポーツクライミング委員	狭間 広大	諏訪山岳会
事務局長	藤巻 功	諏訪山岳会	国際登山委員	今井 幸男	岡谷山岳会
指導委員	宮坂 公久	茅野山岳会	医科学委員	渡辺 剛	茅野山岳会
遭難対策委員	坂本 元太	諏訪山岳会	やまなみ編集委員	藤森 千吹	下諏訪山岳会
自然保護委員	藤森 幸広	原山岳会			
ジュニア委員	影嶋 知香子	諏訪山岳会			

伊那支部

2024年度 活動計画

1)活動方針

交流会や技術講習会などを通して、支部内各会の交流と技術の向上を図る。
安全登山の情報共有をして、安全対策の確認と充実を図る。
長野県山岳協会の活動への積極的な参加を行う。

2)活動内容

期日	項目	活動内容
5月14日	第1回 幹事会	総会報告 新年度活動内容の確認
5月26日	ふるさとの山を登ろう	担当 駒峰山岳会
7月	夏山登山教室	担当 飯田山岳会
9月17日	第2回 幹事会	理事会報告 秋山交流会の確認
10月20日	秋山交流会	担当 伊那山の会
10月22日	第3回 幹事会	理事会報告 冬季技術訓練の確認
1月12日	冬季技術訓練	担当 駒峰山岳会
2月2日	冬山交流会	担当 伊那山の会
3月18日	第4回 幹事会 年度末総会	理事会報告 支部年度末総会

3)伊那支部役員名簿

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
支部長	木下 秀樹	飯田山岳会	遭難対策委員	林 政樹	伊那山の会
副支部長	塩澤 成人	伊那山の会	ジュニア委員	傘木 靖	飯田山岳会
指導委員	伊藤 彰啓	伊那山の会	スポーツクラ イミング委員	竹内 一郎	飯田山岳会
やまなみ 編集委員	唐木 千穂	伊那山の会	支部幹事	木下 秀樹	飯田山岳会
自然保護委員	吉澤 志津子	伊那山の会	支部幹事	笹川 隆広	駒峰山岳会
国際登山委員	林 英之	駒峰山岳会	支部幹事	塩澤 成人	伊那山の会
医科学委員	寺澤 多津子	飯田山岳会			
国体委員	小池 優紀夫	駒峰山岳会			

登山部

2024年度 方針

1. 協会の本来の願いに沿った登山活動を活発化する。
2. 登山部内の4事業（針ノ木、小川山、セミナー。ミーティング）を主管する。
3. 登山部内の委員会相互のまた山岳総合センターとの連携により、諸事業を活発に行い、協会のつながりを強化する。

具体的活動

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 1. 第27回雪上技術交流会 in 針ノ木 | 5月11日(土)～12日(日) |
| 2. 登山部一斉委員会 | 5月21日(火) |
| 3. 第38回長山協キャンプ in 小川山 | 10月12日(土)～13日(日) |
| 4. 長山協山のセミナー | 2025年2月1日(土) |
| 5. 第10回ウインターミーティング in 八ヶ岳 | 2025年2月15日(土)～16日(日) |
| 6. 自然保護委員会 | |
| 野鳥観察会 | 6月 |
| 自然観察会 | 10月 |
| 冬の野鳥観察会 | 1月～2月 |
| 山の写真、情報収集 | |
| 7. ジュニア登山教室 | |
| 第1回登山教室 | 8月3日(土)～4日(日) |
| 第2回登山教室 | 8月24日(土)～25日(日) |
| 第3回登山教室 | 9月1日(日) |
| 第4回登山教室 | 2025年2月15日(土) |

指導委員会 2024（令和6）年度事業計画

2024（令和6）年3月2日

指導委員長 高橋政男

2023年度委員会内事務や会計の混乱の反省から、委員会のあり方、予算など再検討するための期間とし、最低限の事業実施とします。

規程の見直し

支出基準の作成など

1 第63回AC1指導者養成講習会・検定会 4/20（土）5/11（土）～12（日）

2 スキルアップ研修会（長野県山岳総合センター・遭難対策委員会共催分）

① 岩登り 2025/6/16（日） 更新講習含む

② 危急時対策 20225/11/17（日） 更新講習含む

3 指導委員会総会 2025/3/1（土）

外部派遣

4 全国指導委員長会 6/1（土）～2（日）

随時実施

5 支部主催登山教室への協力

6 更新時講習・対象講習手続き

7 協会未加盟指導員の個人会員化・有効期限切れ会員への対応のお願い

2025（令和6）年度 指導委員会専門委員会

任務

委員長 高橋 政男

副委員長 松山 信

総務 支部選出① 支部選出②

検定 傘木 靖

研修 支部選出① 支部選出②

登録管理 金井 剛 (指導者管理システム)

			取得年	有効期限
検定員	傘木 靖	SC	2022.4	2026/3/31
	松山 信	AC (A)	2022.3	2026/3/31

登山部 遭難対策委員会

2024年度活動計画

1) 活動方針

- ・ 遭難対策として、①山岳遭難の予防、②危急時・遭難発生時の被害軽減を目的として下記の研修を実施する。
 - ① 山岳遭難の予防
研修内容：雪上技術、ロープワーク等
 - ② 危急時・遭難発生時の被害軽減
研修内容：岩場のセルフレスキュー、雪崩対応等、ファーストエイド等
※研修においては、指導委員会、山岳総合センター等と協力しておこなう。
- ・ 遭難事故発生時において、単一山岳会で対応できない部分についての支援をおこなう。

2) 活動計画

- 登山部主催事業の実施
- 山岳センター事業への共催
- 遭対委員会の実施
- JIMSCA 全国遭難対策委員長会議、全国山岳遭対対策協議会への参加

期 日	項 目	活動内容
2024年 5月11～12日	雪上技術交流会 in 針の木 (登山部主催)	
5月	第1回遭対委員会(一斉委員会)	顔合わせ、年間計画確認
6月16日	スキルアップ研修会① (センター、指導委共催)	岩登り
6月29～30日	JIMSCA 全国遭難対策委員長会議・ 研修会	東京海員会館 online 参加予定
7月12日	全国山岳遭難対策協議会	online 参加予定
10月19～20日	長山協キャンプ in 小川山 (登山部主催)	
11月17日	スキルアップ研修会② (センター、指導委共催)	危急時対策
2025年2月1日	長山協山のセミナー(登山部主催)	
2月15～16日	ウインターミーティング in 八ヶ岳 (登山部主催)	

3) 役員名簿

役職	氏 名	所 属
委員長	西之園 徹	諏訪山岳会
東北信	松山 信	マウントブーリー
中信	廣川健太郎	信濃木崎クライミングクラブ
諏訪	坂本 元太	諏訪山岳会
伊那	林 政樹	伊那山の会

登山部 自然保護委員会

2024 (R6) 年度活動計画

1) 活動方針

今年度は、前年度までに検討した内容について状況を鑑みながら可能な範囲で実現したい。

各支部の委員を中核にまた長野県山岳総合センター及び登山部各委員会とも連携を図りながら協会員が「参加したい」と思える活動を行って行きたい。

長山協 HP や SNS 投稿なども活用した事業を実施して行きたい。

2) 活動計画

期 日	項 目	活 動 内 容
6 月	野鳥観察会 戸隠森林植物園	センターと共催
10 月	自然観察会 戸隠、または飯綱高原	センターと共催
1 月～2 月頃	冬の野鳥観察会 安曇野市御宝田周辺	センターと共催
通年	山の写真・情報募集	信州の山の写真を広く募集、協会 SNS を通じて 広く信州の山のすばらしさを周知する。 HP 担当と協力。

【対外・外部会議等】

- ① 乗鞍岳自動車利用適正化連絡協議会 3 月、松本市安曇支所
- ② 高山植物等保護対策協議会 (中信森林管理署)
- ③ 中央アルプス自然公園保護・活用推進協議会 (上伊那地域振興局環境・廃棄物対策課)
- ④ JMCA 全国自然保護委員長会議 (11 月、東京またはオンライン出席)

3) 役員名簿

支部	氏名	所属
委員長	麻田 正明	松本岳友会 L&M
東北信	中島 智章	長野山岳会
中信	赤梅 琴美	大町山の会
諏訪	藤森 幸広	原山岳会
伊那	吉澤 志津子	伊那山の会

ジュニア委員会

2024年度 活動計画

(1) 活動方針

- ①登山、自然体験教室を実施する（いずれも山岳総合センターとの共催）
- ②次年度以降の登山教室実施候補山域の選定と取組み方についての検討を行う。

(2) 実施予定

回	実施日	教室名称	実施場所
1	8月3日（土） ～4日（日）	第1回登山教室 たかがりキッズキャンプ	山岳総合センター 鷹狩山周辺
2	8月24日（土） ～25日（日）	第2回登山教室 親子クライミングキャンプ	佐久市 岩場
3	9月1日（日）	第3回登山教室 湯俣の自然を楽しもう	大町市高瀬渓谷・湯俣
4	2月15日（土）	第4回登山教室 雪のたかがり山ハイク	山岳総合センター 鷹狩山周辺

(3) 委員名簿

	氏名	役職	支部	所属
1	栗原久	委員長	中信支部	大町山の会
2	松山武彦	支部選出	東北信支部	中野山岳会
3	影嶋知香子	〃	諏訪支部	諏訪山岳会
4	傘木靖	〃	伊那支部	飯田山岳会
5	神保敦子	〃	東北信支部	ホワイトバーチ長野
6	柘津唯	〃	中信支部	松本岳友会ライフ&マウント

登山部 国際登山委員会

2024年度活動計画

1) 活動方針

- ・ 西藏登山協会およびネパール登山協会との友好関係事業の継続
- ・ 国際交流の推進
- ・ 海外登山検討会の実施
- ・ 長山協 山のセミナー開催
- ・ JMSCA 国際 AC 委員会の会合に参加、情報収集
- ・ 新たな取組として「海外キャンプ」(登山隊・トレッキング隊)の企画を検討

2) 活動計画

期 日	項 目	活動内容
未 定	JMSCA 国際 AC 総会出席	海外登山技術研究会(同時開催)出席
2月1日	長山協 山のセミナー開催	他委員会との共同開催
(随時)	海外登山検討会実施	計画検討

3) 委員名簿

役職	氏 名	所 属
委員長	中島 俊弥	個人会員
東北信	松下 徳孝	中条山岳会
中信	伊藤拓生	大町山の会
諏訪	今井 幸男	岡谷山岳会
伊那	林 英之	駒峰山岳会

医科学委員会

2024年度活動計画

1) 活動方針

- ・医科学委員会は、「安全で確実な登山』『健康増進や予防の重要性』など、共に学びながら情報を提供してまいります。

2) 活動計画

期 日	項 目	活動内容
年間で2回程度	『やまなみ』への寄稿	登山やクライミングに必要な体づくり他
9月予定	講習会の開催	登山に役立つ情報を提案します。
10月予定	長山協キャンプ in 小川山	他委員会との共同開催で計画いたします。
2月中旬	ウインターミーティング in 八ヶ岳	他委員会との共同開催で計画いたします。

3) 役員名簿

役職	氏 名	所 属
委員長	神保 敦子	ホワイトバーチ長野
副委員長	服部 徹	理学療法士会
委員（東北信）	柴本 利広	グループ・ド・モレーヌ
委員（中信）	鳥山公平	信大医学部山岳部
委員（諏訪）	渡辺 剛	茅野山岳会
委員（伊那）	寺澤 多津子	飯田山岳会
委員	藤堂 庫治	理学療法士会

競技部 国体委員会

2024年度活動計画

1) 活動方針

- ① 国体選手の選出、派遣
- ② 国体選手・国体候補選手参加の強化合宿のサポート
- ③ 選手の発掘および育成に向けて、クライミングジムへの協力依頼および連携。
- ④ 長野県スポーツ協会との連携

2) 活動内容

期 日	項 目	活 動 内 容
4月14日	県クライミング大会（国スポ県予選）ちゃんめろ	
5月19日	北信越五県代表者会議（石川県） 県スポーツ協会競技力向上専門委員会	北信越国スポ抽選等
6月	北信越国スポ申込締め切り	北信越国スポの手続き等
7月27,28日	北信越国民スポーツ大会（石川県）	選手強化合宿
9月	国民スポーツ大会監督会議（長野市）	
10月12-14日	国民スポーツ大会（佐賀県）	選手強化合宿
11月	県スポーツ協会ヒアリング（長野市） 北信越五県連絡協議会(新潟)	本年度国スポ成績等
12月	理事長・競技力向上専門委員合同会議 北信越ブロック研修会	今後の選手強化等

2024 年度委員名簿

役 職	氏 名	所 属	備 考
委員長	浮須 由実	グループ・ド・モレーヌ	
委員	中嶋 ^{かざやす} 一恭	個人会員	
委員	井出 ^{ひろのり} 弘典	個人会員	会計
委員	徳嵩 誠	個人会員	会計
委員	野本美樹	個人会員	
委員	佐藤美伸	個人会員	
委員	井出奈津美	個人会員	
委員	川嶋 一暢	大町山の会	
委員	伊東 秀起	アートウォール	東北信支部
委員	廣川健太郎	信濃木崎クライミングクラブ	中信支部
委員	小林 正則	岡谷山稜会	諏訪支部
委員	小池 優紀夫	駒峰山岳会	伊那支部

保護者だけの選出では不十分。山岳協会員も委員長はじめ数名で構成を検討。

競技部 スポーツクライミング委員会

2024年度活動計画

1) 活動方針

- ① 強化指定選手中心の錬成。
- ② クライミングジムとの連携強化。
- ③ 長野県スポーツ協会との連携強化。

2) 活動内容

- ① 委員会を年4回開催し、指導方針と選手の成長を話し合う。
- ② 基本的には選手それぞれが個人練習をする。
- ③ 全種別合同での練習会または講習会を年4回開催する。
- ④ 複数種別が合同で開催することも見据えつつ、各種別独自での錬成（合宿）をそれぞれ開催する。
- ⑤ 県のマルチサポート活用事業を積極的に活用する。

2024年度委員名簿

役職	氏名	所属	備考
委員長	橋詰 正興	長野フリークライミングクラブ	コーチ1
委員	橋本 今史	長野フリークライミングクラブ	コーチ1
委員	中嶋 渉	長野フリークライミングクラブ	コーチ1
委員	京屋 仁	長野フリークライミングクラブ	コーチ1 JMCA公認セッター
委員	小林 大祐	長野フリークライミングクラブ	コーチ1 JMCA公認セッター
委員	中嶋 岳志	長野フリークライミングクラブ	
委員	伊東 秀起	アートウォール	東北信支部
委員	栗原 久	大町山の会	中信支部
委員	狭間 広大	諏訪山岳会	諏訪支部
委員	竹内 一郎	飯田山岳会	伊那支部

高体連

2024年度活動計画

1. 活動方針

- ① 県総合体育大会登山大会や東北中南信地区新人大会の開催。
- ② 第68回全国高等学校登山大会・第15回全国高等学校選抜クライミング選手権大会への選手派遣、支援
- ③ 県内高校生の山岳部員数の拡大、安全登山の啓蒙。

2. 活動内容

- ① 令和6年度（南信地区）総合体育大会
期 日 5月10日(金)～11日(土)
場 所 茅野市
会 場 八ヶ岳 編笠山・西岳
- ② 令和6年度 長野県高等学校総合体育大会 第53回登山大会
期 日 令和6年5月30日(木)～6月1日(土)
場 所 松本市・安曇野市
会 場 蝶ヶ岳
- ③ 令和6年度 北信越高等学校体育大会 第36回北信越高等学校登山大会
期 日 令和6年6月14日(金)～16日(日)
場 所 新潟県南魚沼市
会 場 巻機山（まきはたやま）
- ④ 令和6年度 全国高等学校体育大会 第68回全国高等学校登山大会
期 日 令和6年8月2日(金)～8月6日(火)
場 所 福岡県立英彦青年の家
会 場 中岳・北岳・南岳・岳滅鬼岳
- ⑤ (南信地区) 沢登講習会
期 日 8月24日(土)
場 所 泰阜村
会 場 万古溪谷
- ⑥ 令和6年度地区新人体育大会
東信地区：根子岳・四阿山（上田市）9月28日(土)～29日(日)
中信地区：美ヶ原（松本市）9月13日(金)～14日(土)
南信地区：未定 9月13日(金)～14日(土)
北信地区：岩菅山（志賀高原）10月5日(土)～6日(日)
- ⑦ 第15回全国高等学校選抜クライミング選手権大会
期 日 12月23日(月)～24日(火)
会 場 埼玉県加須市

2024(令和6)年度 長野県山岳総合センター 運営・管理のポイント

(1) 主催事業

(ア) 次世代の育成につながる事業への注力

① 高校山岳部生徒、顧問対象

- ・ 県内の高校山岳部、登山部に在籍している生徒対象の交流を兼ねた研修会の開催(9月)
- ・ 国立登山研修所主催の「高等学校登山夏山基礎講習会」への協力(7月)

② 中学校登山にかかわる事業

- ・ 教職員向け登山実践講座の継続開催(体育センターとコラボ2回 乗鞍岳)(5月、7月)
- ・ 中学校における学校登山の実態調査の実施(令和2年以来4年ぶり)

③ 子ども及び親子向け講座の充実

- ・ わくわくチャレンジ教室の開催(協会ジュニア委員会との共催)
- ・ わいわいKids ボルダリング教室の開催(月2回、2部制開催、未就学児も対象)
- ・ 大町市中間教室「アルプスの家」の授業への協力

(イ) 従来のような講習会や研修会開催中心の事業展開からの転換

- ・ 直接講習だけでなく動画やオンライン利用によりエンドユーザーに広がるような事業への注力
- ・ 講習会、研修会の対象者や講習内容の精査

(ウ) 安全登山の啓発普及事業の推進

① 今年度に引き続き、シニア安全登山教室を開催(登山体力セルフチェックも実施予定)

② 安全登山の啓発普及のための情報発信の充実

- ・ デジタルツールのさらなる活用 例として、LINEを利用した双方向の登山相談の継続
- ・ HPやブログ、SNSの更なる活用による安全登山の啓発普及のための情報発信

(エ) 協会とのかかわり

- ・ 協会の指導委員会、遭対委員会、ジュニア委員会、自然保護委員会との、講習会や研修会、教室の共催(指導者資格更新講習会としての開催も)

(2) 利用事業

- ・ 気持ちよく安全に利用してもらえるよう施設管理
- ・ 人工岩場及び浄化槽の補修工事を実施予定

(3) 管理その他

(ア) 次期指定管理者応募に向けての準備

- ・ 前回の募集時と同様のスケジュールで進むことが予想される 早め早めに準備をすすめていく

(イ) 専門性の高い優秀な人材やセンターへの協力者確保に向けて、常にアンテナを高くしていく

- ・ 次期指定管理者に選定されることを見据えた人材確保

(ウ) 職員の専門性の向上のための研修機会を増やす体制づくり

(エ) 協会所有の低酸素装置の管理継続

2024年度 長野県山岳協会 年間計画

※下線は長山協以外で主管の行事

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1月		1水		1土	高等学校総合体育大会 指導委員長会議	1月		1木		1日	ジュニア登山教室③
2火		2木		2日	指導委員長会議	2火		2金	全国高校登山大会	2月	
3水		3金		3月		3水		3土	ジュニア登山教室① 全国高校登山大会	3火	
4木		4土		4火		4木		4日	ジュニア登山教室① 全国高校登山大会	4水	
5金		5日		5水		5金		5月	全国高校登山大会	5木	
6土	23Y第7回理事会	6月		6木		6土		6火	全国高校登山大会	6金	
7日	第65回定期総会	7火		7金		7日		7水		7土	
8月		8水		8土	東北・夏山登山教室	8月		8木		8日	
9火		9木		9日		9火		9金		9月	
10水	中信支部幹事会①	10金	南信地区 総合体育大会	10月	やまなみ253号発行	10水		10土		10火	やまなみ254号発行
11木		11土	第27回雪上技術交流会 AC1指導者検定会 南信地区 総合体育大会	11火		11木	諏訪支部幹事会②	11日		11水	
12金		12日	第27回雪上技術交流会 AC1指導者検定会	12水		12金		12月		12木	諏訪支部幹事会③
13土		13月		13木	第3回理事会	13土		13火		13金	南信地区新人体育大会 中信地区新人体育大会
14日	県クライミング大会 JMSCA臨時総会	14火	伊那支部幹事会①	14金	北信越高等学校体育大会	14日		14水		14土	南信地区新人体育大会 中信地区新人体育大会
15月		15水		15土	北信越高等学校体育大会	15月		15木		15日	
16火		16木		16日	スキルアップ研修会・岩登り 北信越高等学校体育大会	16火		16金		16月	
17水		17金		17月		17水	中信支部幹事会②	17土		17火	伊那支部幹事会②
18木	諏訪支部幹事会①	18土		18火		18木		18日		18水	
19金		19日	北信越五県会議(石川)	19水		19金		19月		19木	
20土	AC1指導者養成講習会	20月		20木		20土		20火		20金	
21日		21火	登山部一斉委員会	21金		21日	諏訪・夏山登山教室	21水		21土	全日本登山大会(新潟)
22月		22水		22土		22月		22木	第4回理事会	22日	全日本登山大会(新潟)
23火		23木		23日	JMSCA総会	23火		23金		23月	全日本登山大会(新潟)
24水		24金		24月		24水		24土	ジュニア登山教室②	24火	
25木	第2回理事会	25土		25火		25木		25日	ジュニア登山教室②	25水	
26金		26日	伊那・ふるさとの山を登ろう	26水		26金		26月		26木	
27土		27月		27木		27土	第45回北信越国スポ(石川) 中信・夏山登山教室	27火		27金	
28日		28火		28金		28日	第45回北信越国スポ(石川)	28水		28土	東信地区新人体育大会
29月		29水		29土	遭対委員長会議	29月		29木		29日	諏訪・八ヶ岳清掃登山 東信地区新人体育大会
30火		30木	高等学校総合体育大会	30日	遭対委員長会議	30火		30金		30月	
		31金	高等学校総合体育大会			31水		31土			
備考	東北信支部幹事会①	備考	東北信支部幹事会②	備考	東北信・物見の岩清掃	備考	伊那・夏山登山教室	備考	東北信支部幹事会③	備考	東北信支部・交流会 国スポ監督会議

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1 火		1 金		1 日		1 水		1 土	山のセミナー	1 土	指導委員会総会
2 水		2 土		2 月		2 木		2 日	伊那・冬山交流会	2 日	
3 木		3 日		3 火		3 金		3 月		3 月	
4 金		4 月		4 水		4 土		4 火		4 火	
5 土	北信地区新人体育大会	5 火		5 木		5 日		5 水		5 水	中信支部定期総会
6 日	北信地区新人体育大会	6 水		6 金		6 月		6 木		6 木	
7 月		7 木		7 土		7 火		7 金		7 金	諏訪支部定期総会
8 火		8 金		8 日		8 水		8 土		8 土	
9 水		9 土		9 月		9 木		9 日		9 日	
10 木		10 日		10 火	やまなみ255号発行	10 金		10 月		10 月	やまなみ256号発行
11 金		11 月		11 水		11 土		11 火		11 火	
12 土	38回長山協キャンプ 国スポ佐賀2024	12 火		12 木	第6回理事会	12 日	伊那支部・冬季技術訓練	12 水		12 水	第8回理事会
13 日	38回長山協キャンプ 国スポ佐賀2024	13 水		13 金		13 月		13 木		13 木	
14 月	国スポ佐賀2024	14 木		14 土		14 火		14 金		14 金	
15 火		15 金		15 日		15 水		15 土	ウインターミーティング ジュニア登山教室③	15 土	
16 水		16 土		16 月		16 木		16 日	ウインターミーティング	16 日	
17 木	第5回理事会	17 日	スキルアップ研修会・危急時	17 火		17 金	諏訪支部・幹事会④	17 月		17 月	
18 金		18 月		18 水		18 土		18 火		18 火	伊那支部定期総会
19 土		19 火		19 木		19 日		19 水		19 水	
20 日	諏訪・登ろうふるさとの山 伊那・秋山交流会	20 水		20 金		20 月		20 木	第7回理事会	20 木	
21 月		21 木		21 土	高校選抜クライミング選手権	21 火		21 金		21 金	
22 火	伊那支部幹事会③	22 金		22 日	高校選抜クライミング選手権	22 水		22 土		22 土	
23 水		23 土		23 月		23 木		23 日		23 日	
24 木		24 日		24 火		24 金		24 月		24 月	
25 金		25 月		25 水		25 土		25 火		25 火	
26 土		26 火		26 木		26 日		26 水		26 水	
27 日		27 水		27 金		27 月		27 木		27 木	
28 月		28 木		28 土		28 火		28 金		28 金	
29 火		29 金		29 日		29 水				29 土	
30 水		30 土		30 月		30 木				30 日	
31 木				31 火		31 金				31 月	
備考		備考	北信越五県連絡協議会(新潟) スポーツ協会ヒアリング	備考	北信越ブロック研修会	備考		備考		備考	東北信支部定期総会

2023年度 長野県山岳協会一般会計決算書

1 収 入 【日本山岳・スポーツクライミング協会＝JMSCAと略称表記】

科 目	2023年度予算額	2023年度決算額	比較増減	備 考
加 盟 分 担 金	855,000	855,000	0	27団体 1旧中高年団体
個 人 会 員 会 費	80,000	120,000	40,000	5,000×24名
J M S C A 還 付 金	250,000	260,489	10,489	山岳共済加入額、選手登録数等から算定
賛 助 広 告 料	237,000	237,000	0	やまなみ賛助広告、Webバナー広告 8社
補 助 金	280,000	340,000	60,000	国スポ競技役員養成補助(10万)、JMSCA、長野県補助
雑 収 入	642	615	△ 27	一般会計・個人会員会計通帳利息、低酸素室利用料金
繰 越 金	1,656,358	1,656,358	0	(2023年度開始時一般通帳1,104,089、個人会員552,269)
収 入 合 計	3,359,000	3,469,462	110,462	

2 支 出

科 目	2023年度予算額	2023年度決算額	比較増減	備 考
J M S C A 会 費	260,000	246,000	△ 14,000	JMSCAへ
県スポーツ協会分担金	140,000	138,800	△ 1,200	県スポーツ協会へ、含保険代
県自然保護連盟分担金	0	0	0	県自然保護連盟活動休止中
支 部 交 付 金	44,000	44,000	0	東北信8 中信4 諏訪7 伊那3 @2000
高 体 連 交 付 金	50,000	50,000	0	地区大会補助 他
国際登山研修事業	30,000	42,830	12,830	海外登山技術研究会、長山協セミナー費用
自然保護研修事業	30,000	1,821	△ 28,179	自然保護指導員証送付代
遭難対策研修事業	30,000	30,000	0	JMSCA遭難対策委員長会議、長山協セミナー費用
指導研修活動事業	50,000	30,000	△ 20,000	年間活動費
競技登山事業	280,000	380,000	100,000	県大会費用(JMSCA国体予選補助¥100,000を支出)
スポーツクライミング育成事業	80,000	55,000	△ 25,000	セッター研修会受講料1名
ジュニア育成事業	100,000	36,500	△ 63,500	わくわくチャレンジ教室3回
支部主催事業補助	160,000	45,272	△ 114,728	夏山登山教室(3支部)
医科学委員会補助	30,000	30,000	0	野外救命講習、長山協セミナー費用
特別事業費	200,000	229,381	29,381	鹿児島国体視察
対 外 交 流 ・ 交 渉 費	100,000	11,040	△ 88,960	双葉印刷土産、JMSCA新春懇談会
北信越連絡協議会	50,000	56,000	6,000	北信越国体山岳競技分担金、他
協会会議費	100,000	51,980	△ 48,020	会議会場費、Zoom利用費、理事会交通費補助他
通 信 費	30,000	20,554	△ 9,446	郵便、宅配便
印 刷 費	30,000	1,505	△ 28,495	やまなみ宛名ラベル代 他
備品・消耗品費	30,000	4,400	△ 25,600	データ交換用SDカード
旅 費 交 通 費	100,000	131,560	31,560	会議、打合せ等の旅費補助
慶 弔 費	20,000	0	△ 20,000	
雑 費	10,000	14,190	4,190	振込手数料他
やまなみ印刷代	240,000	228,360	△ 11,640	やまなみ印刷代、4回発行
やまなみ事務費	100,000	77,809	△ 22,191	やまなみ発送代、発送作業交通費補助
Web 関 連 費	50,000	17,874	△ 32,126	レンタルサーバー、ドメイン契約更新
山岳図書資料館	5,000	0	△ 5,000	
特別会計積立	500,000	500,000	0	計画通り特別会計へ積立
予 備 費	510,000	0	△ 510,000	
支 出 合 計	3,359,000	2,474,876	△ 884,124	

収入合計 3,469,462 円
 支出合計 2,474,876 円 差引 994,586 円 次年度繰越金

2023 年度 長野県山岳協会特別会計決算書

項 目	金 額	摘 要
前年度繰越額	¥ 3,397,010	八十二銀行 普通
本年度収入額	¥500,028	特別会計積立金(一般会計)+利息
国体カンパ金	¥ 122,600	国体カンパ金次年度繰越
本年度支出額	¥0	
本年度末額	¥ 4,019,638	八十二銀行 普通

2023 年度 会計監査報告

一般会計並びに特別会計決算報告に基づく全ての証拠書類について監査したところ、
適正に処理されていることを認めましたので、報告いたします。

2024年 4月 6日

監 事 田中幸雄 

監 事 三澤悦郎 

2024年度 長野県山岳協会一般会計予算書(案)

1 収 入

科 目	2023年度予算額	2024年度予算額	予算比較増減	備 考
加 盟 分 担 金	855,000	900,000	45,000	29団体 1旧中高年団体
個 人 会 員 会 費	80,000	120,000	40,000	5000×24名
J M S C A 還 付 金	250,000	250,000	0	山岳共済加入額、選手登録数等から算定
賛 助 広 告 料	237,000	262,000	25,000	やまなみ賛助広告、Webバナー広告 9社(1社再開)
補 助 金	280,000	330,000	50,000	山岳共済5、ジュニア育成5、県山岳遭対8、県国スポ役員養成15
雑 収 入	642	414	△ 228	利息 他
繰 越 金	1,656,358	994,586	△ 661,772	(2024年度開始時一般会計通帳:322,312、個人会計:672,274)
収 入 合 計	3,359,000	2,857,000	△ 502,000	

2 支 出

科 目	2023年度予算額	2024年度予算額	予算比較増減	備 考
J M S C A 会 費	260,000	260,000	0	JMSCA へ
県スポーツ協会分担金	140,000	140,000	0	県スポーツ協会へ、含保険代
支 部 交 付 金	44,000	46,000	2,000	東北信8 中信5 諏訪7 伊那3 @2000(中信1団体増)
高 体 連 交 付 金	50,000	50,000	0	地区大会補助 他
登山部全体活動事業		60,000	60,000	山岳セミナーなど登山部全体での活動費として新設
国際登山研修事業	30,000	20,000	△ 10,000	JMSCA国際部総会研修会、海外登山研究会
自然保護研修事業	30,000	30,000	0	JMSCA自然保護委員総会および研修会
遭難対策研修事業	30,000	20,000	△ 10,000	JMSCA遭難対策委員総会および研修会
指導研修活動事業	50,000	30,000	△ 20,000	JMSCA指導委員総会、指導委員会企画事業補助
ジュニア育成事業	100,000	100,000	0	ジュニア登山教室他
医科学委員会補助	30,000	20,000	△ 10,000	医科学研修会他
競技登山事業	280,000	400,000	120,000	県大会兼国スポ予選 他
スポーツクライミング育成事業	80,000	80,000	0	講習会他
支部主催事業補助	160,000	80,000	△ 80,000	夏山登山教室他 各支部主催事業補助(実績より半額)
特別事業費	200,000	200,000	0	国スポ関係会議 他
長野国スポ準備費		20,000	20,000	第82回長野国スポ大会役員養成など用として新設
対外交流・交渉費	100,000	50,000	△ 50,000	JMSCA新年会、県内外団体交流、交渉経費(実績より半額)
北信越連絡協議会	50,000	60,000	10,000	北信越国スポ山岳競技分担金(北信越垂れ幕作成費負担分1万円増)
協会会議費	100,000	70,000	△ 30,000	会議会場費、Zoom利用料、理事会交通費補助他(実績から減額)
通 信 費	30,000	30,000	0	郵便関係、宅配便など
印 刷 費	30,000	10,000	△ 20,000	コピー代他(実績より減額)
備品・消耗品費	30,000	10,000	△ 20,000	コピー用紙、印刷消耗品等(実績より減額)
旅 費 交 通 費	100,000	150,000	50,000	会議、打合せ等旅費補助(会議等への参加回数増より)
慶 弔 費	20,000	20,000	0	関係者冠婚葬祭
雑 費	10,000	15,000	5,000	振込手数料他(実績より増額)
やまなみ印刷代	240,000	240,000	0	やまなみ印刷代、4回発行
やまなみ事務費	100,000	100,000	0	やまなみ発送代、発送作業交通費補助
Web 関 連 費	50,000	50,000	0	レンタルサーバー HP改修 他
山岳図書資料館	5,000	30,000	25,000	ネパール友好協定書表装費用2.5万
特別会計積立	500,000	0	△ 500,000	2024年度は行わない
予 備 費	510,000	466,000	△ 44,000	繰越金 他
支 出 合 計	3,359,000	2,857,000	△ 502,000	

規約改正について

- 1, 国民体育大会から国民スポーツ大会への名称変更に伴い、実態をあわせるために以下の通りとする。

第5章 機関

第18条 (専門部・専門委員会)

- 1.本協会に第4条の目的を遂行するため、次の専門部および専門委員会をおく。

(2)競技部

旧：国体委員会 → 新：国スポ委員会

- 2, 2028年に長野県で国民スポーツ大会が開催され、長野県山岳協会がスポーツクライミング競技を主管することに伴い、以下の機関を設置(新設)する。

第5章 機関

第21条 (国スポ準備室)

- 1.長野国スポの円滑な企画運営のために、国スポ準備室をおく。
- 2.国スポ準備室には、担当の理事をおく。
- 3.国スポ担当理事は、必要に応じて準備室の室員を置くことができる。その際は理事会に諮る。

※22条以下の数字を変更

長野県山岳協会規約

第 1 章 総 則

第 1 条（名称・所在地）

本協会は、長野県山岳協会（以下「本協会」という）といい、英語名を NAGANOMOUNTAINEERING ASSOCIATION. JAPAN(略称N. M. A. JAPAN)とし、事務局を長野県内におく。

第 2 条（組 織）

本協会は、長野県内に事務所を持つ山岳団体で、第 4 条の目的に賛同して加盟するもの、及び長野県山岳協会の活動に賛同して加盟する個人をもって組織する。なお、県外を本拠地としていても、本協会の活動に賛同する団体が加盟を希望すれば、理事会にて審議した上で加盟を認めることもある。なお個人会員については、協会規約とは別の規程を定める。

第 3 条

本協会は、（公財）長野県スポーツ協会および（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会に加盟する。

第 2 章 目 的 お よ び 事 業

第 4 条（目 的）

本協会は、正しい登山を指導普及してその健全な発展をはかり、あわせて加盟団体の交流をはかりながら、国民体育ならびに文化の向上に寄与することを目的とする。

第 5 条（事 業）

本協会は、前条の目的を達成するため、必要に応じて次の事業を行う。

- (1) 登山道徳の啓蒙と安全な登山の普及
- (2) 登山の普及および技術の向上に関する研究会、講習会の開催
- (3) 山岳遭難の予防とその対策に関する企画および指導
- (4) 自然保護活動の推進と登山施設の愛護
- (5) 競技登山の推進
- (6) 海外登山の推進、情報の収集・提供および計画の指導ならびに相談
- (7) 機関紙、年報その他必要な出版物の発行
- (8) 長野県山岳総合センターの運営
- (9) その他目的を達成するために必要な事業

第 6 条

本協会の事業年度は、毎年 4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日に終わる。

第 3 章 加 盟 団 体

第 7 条（加 盟）

1. 本協会に加盟しようとする団体は、事務局に届け出て、理事会の承認を得なければならない。
2. このほかに必要とする事項は、総会にはかり、別に定める。

第 8 条（脱 退）

本協会を脱退するには、理由を付した文書で届け出て理事会の承認を得なければならない。

第 9 条（除 名）

加盟団体が次の各号の一つに該当するときは、理事会および総会の議決をもって除名することができる。

- (1) 分担金を理由なく滞納したとき
- (2) 本協会の名誉を傷つけ、または本協会の目的に反する行為があったとき
- (3) 加盟団体の解散および消滅
- (4) 上記に準ずる事由がある場合

第 4 章 役 員

第10条 (役員の種類および員数)

1. 本協会に、次の役員をおく。

理事28名以内うち、会長1名

副会長若干名

理事長1名

事務局長1名

監事2名

2. 前項に規定する役員のほか、会長は総会の議を経て名誉会長、顧問および参与を委嘱することができる。

第11条 (役員の仕事)

1. 会長は、本協会を代表し会務を総括する。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときまたは欠けたときはその職務を代行する。
3. 理事長は、日常の協会業務を処理する。
4. 事務局長は、事務局を運営し、協会会計を処理する。
5. 理事は、理事会を組織し、本協会の業務を議決し執行する。
6. 監事は、会計を監査する。
7. 名誉会長、顧問は、会長の諮問に応え、必要に応じて意見を述べるすることができる。

第12条 (役員を選出)

1. 会長、副会長は、総会で推挙する。
2. 会長および副会長を除く理事は、次の各号に掲げる者とする。
 - (1) 各支部から選出された支部長
 - (2) 各専門部、専門委員会から選出された専門部長、専門委員長
 - (3) 総会の承認を得て、会長が委嘱した者
3. 理事長および事務局長は、理事の互選により理事会で選出する。
4. 監事は、総会で選出する。

第13条 (役員の仕事)

1. 役員の仕事は2年とし、再任を妨げない。
2. 補充役員の仕事は、前任者の残任期間とする。
3. 役員は仕事を満了しても、後任者が選出されるまでは、その職務を行う。

第14条 (役員の仕事)

本協会の役員としてふさわしくない行為があったとき、または特別な事情がある場合は、総会の議決によりこれを解任することができる。ただし総会の開催が困難な場合は、理事会の議決をもってかえることができる。

第 5 章 機 関

第15条 (会 議)

1. 本協会の会議は、総会、理事会とする。

2. 総会は会長が召集し、理事会は理事長が招集する。ただし評議員または理事の3分の1以上から目的を示して請求があったときは、会長または理事長は、速やかに総会または理事会を招集しなければならない。
3. 会議の議長は、総会においては出席評議員の互選により選出し、理事会においては理事長がつとめる。
4. 会議の議決は、本規約で特に定めてあるほかは、出席者の過半数によって決め、可否同数のときは議長が決める。

第16条（総会）

1. 総会は、本協会の意思決定機関であって、毎年4月定例総会を開催するほか、必要に応じて臨時総会を開催する。
2. 総会の開催通知は、日時、場所および議案を明示して開催日の15日前までに発送しなければならない。ただし緊急やむをえないときは、この期間を短縮することができる。
3. 総会は、評議員現在数の過半数の出席（代理出席者を含む）により成立する。ただし出席できない評議員は、その議決権を他の評議員に委任することができ、その委任状をもって出席とみなすことができる。
4. 各加盟団体、高体連の評議員数は、付則別表による。
5. 総会の議を経なければならない事項は、次の通りである。
 - (1) 前年度の事業報告および決算報告
 - (2) 新年度の事業計画および予算
 - (3) 規約の改正
 - (4) 役員の選出、推挙および解任
 - (5) その他重要事項
6. 議長は、議事録署名人2名を指名し、議事録を作成する。
7. 理事その他の役員は、総会に出席して意見を述べることができる。

第17条（理事会）

1. 理事会は、本協会の業務執行機関であって、必要に応じて随時開催する。
2. 理事会は、構成員の過半数の出席がなければ成立しない。ただし再度招集した場合はこの限りではない。

第18条（専門部・専門委員会）

1. 本協会に第4条の目的を遂行するため、次の専門部および専門委員会をおく。
 - (1) 登山部
 - 指導委員会
 - 遭難対策委員会
 - 自然保護委員会
 - ジュニア委員会
 - 国際登山委員会
 - 医科学委員会
 - (2) 競技部
 - 国スポ委員会
 - スポーツライミング委員会

2. 各専門委員会の規定は、理事会の議を経て別に定める。
3. 各専門委員会は、各支部から推挙された者と専門委員会の委嘱委員をもって構成する。

第19条（総務部）

1. 協会に、円滑な業務運営のため総務部をおく。
2. 総務部には、担当の副会長をおく。
3. 総務部には、理事会で承認された事務員をおく。
4. 総務部内には、広報担当と会計担当及びホームページ担当をおく。
5. 総務部の規定は、理事会の議を経て別に定める。

第20条 (四役会)

1. 協会並びに理事会の円滑な運営のために、四役会をおく。
2. 四役会には、会長、副会長、理事長、副理事長、事務局長をもって構成する。

第21条 (国スポ準備室)

1. 長野国スポの円滑な企画運営のために、国スポ準備室をおく。
2. 国スポ準備室には、担当の理事をおく。
3. 国スポ担当理事は、必要に応じて準備室の室員を置くことができる。その際は理事会に諮る。

第6章 支部・高体連

第22条 (支部)

本協会の目的を各地区の実状に合わせて遂行し、あわせて地域の独自性と創造ある活動で本協会全般の発展に寄与することを目的に支部をおく。

第23条

支部は、原則として本協会の加盟団体によって構成される。

第24条

支部は、次の各地域ごとに設置する。ただし組織が全県下にわたり、いずれの支部にも所属しがたいと認められる場合には、理事会の議を経て全県組織とすることができる。

- (1) 東北信支部 長野市、須坂市、中野市、飯山市、千曲市、上水内郡、下水内郡、上高井郡、下高井郡、上田市、小諸市、佐久市、東御市、埴科郡、南佐久郡、北佐久郡、小県郡
- (2) 中信支部 松本市、塩尻市、大町市、安曇野市、東筑摩郡、木曾郡、北安曇郡
- (3) 諏訪支部 諏訪市、茅野市、岡谷市、諏訪郡
- (4) 伊那支部 伊那市、駒ヶ根市、飯田市、上伊那郡、下伊那郡

第25条

支部の規約は、理事会の承認を経て支部ごとに定める。

第26条 (高体連)

各高等学校の登山部は、高等等学校体育連盟(通称は高体連)登山専門部として加盟する。

第7章 付属機関等

第27条

本協会の目的達成に資する為、次の付属機関及び構成員をおくことができる。

1. 親睦を目的とする旧中高年登山協加盟団体
2. 長野県山岳総合センター指定管理に伴う運営管理部及び部員
3. 山岳図書資料館の円滑な運営に資する運営委員会及び委員

第8章 会計

第28条 (経費)

本協会の経費は、加盟団体の分担金、寄付金その他の収入をもってあてる。

第29条 （分担金）

1. 本協会の加盟団体、高体連は、毎年付則別表に規定する額の手当金を納入しなければならない。
2. 分担金は、毎年5月までに納入するものとする。
3. 本協会へ新規に加盟した団体は、分担金の納入を1年間免除される。

第30条 （会計年度）

本協会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第 10 章 規 約 の 改 廃 ・ そ の 他

第31条 （規約の改廃）

本規約は、総会に付議して、出席評議員の3分の2以上の賛成を得なければ改廃できない。

第32条 （運営細目）

本規約を運営するために必要な細則は、理事会でさだめることができる。

附 則

1. 本規約は、1966年8月7日から施行する。

2. 一部改正1972年 4月9日

1976年 4月4日

1977年 4月3日

1981年 3月20日

1984年 4月8日

1989年 10月29日

1993年 4月4日

1996年 4月7日

1998年 4月5日

2003年 4月6日

2005年 4月3日

2008年 4月13日

2012年 4月1日

2013年 4月15日

2018年 4月8日

2019年 4月14日

2020年 4月12日

2021年 4月11日

2022年 4月10日

2024年 4月7日

3. 別 表

評議員数および分担金

加盟団体会員数	評議員数	分担金の金額
5 名 以下	1 名	20,000円 (15,000+ 5,000)
6 名～ 10 名	1 名	25,000円 (15,000+ 10,000)
11名～ 15 名	1 名	30,000円 (15,000+ 15,000)
16名～ 20 名	1 名	35,000円 (15,000+ 20,000)
21名～ 25 名	1 名	40,000円 (15,000+ 25,000)
26名～ 30 名	1 名	45,000円 (15,000+ 30,000)
31名～ 35 名	1 名	50,000円 (15,000+ 35,000)
36名～ 40 名	1 名	55,000円 (15,000+ 40,000)
41名～ 45 名	1 名	60,000円 (15,000+ 45,000)
46名～ 50 名	1 名	65,000円 (15,000+ 50,000)
51名～ 75 名	2 名	75,000円 (15,000+ 60,000)
76名～ 100 名	2 名	85,000円 (15,000+ 70,000)
101 名～ 125 名	3 名	95,000円 (15,000+ 80,000)
126 名～ 150 名	3 名	105,000 円 (15,000+ 90,000)
151 名 以上	3 名	115,000 円 (15,000+100,000)
高体連	1 名	20,000円 (協定金額)
旧中高年登山協加盟団体	0 名	10,000円

加盟団体会員数は、前年度の登録人数とする。

長野県山岳協会組織図

2024.04.07 改定

